

**mod\_ktrack**  
**for SiteCatalyst**  
**取扱説明書**

ver 1.40

対応モジュール ver. 20100202.1

## 改訂履歴

改訂日	Ver	改訂内容	改訂者
2007/3	1	SiteCatalyst 版 mod_ktrack 取扱説明書のリリース	セラノ 萩原
2007/06/04	1.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定のディレクトリを計測対象外とする ktrack.conf の設定を追加。</li> <li>まとめて au 支払を利用しているサイトのカスタマイズ例を追加。</li> <li>モバイル検索エンジンクローラーの種類を追加。</li> </ul>	セラノ 萩原
2007/06/04	1.02	<ul style="list-style-type: none"> <li>リファラ情報を計測外とする設定の記述を追加。 &gt; p11</li> <li>タグの送信を WEB サーバへ代替させる設定の記述を追加。 &gt; p11</li> <li>サイト内リファラ情報 r の記述を削除</li> </ul>	オムニチュア 安田
2007/06/06	1.03	・トラフィック変数4の記述を修正 P5	オムニチュア 安田
2007/06/08	1.04	・ディレクティブに KtrackInternalDomain を追加	セラノ 萩原
2007/06/20	1.05	ディレクティブに KtrackLogServerAddress KtrackKeepParams KtrackAnalyzeEnableParams を追加	セラノ 萩原
2007/06/25	1.06	Apache1.3 系の対応バージョンの変更 1.3.23 → 1.3.28 新ディレクティブ追加により対応バージョンに変更発生	セラノ 萩原
2007/06/29	1.07	全体的な校正、誤字、標記揺れを変更。 visitorID 使用に伴い、トラフィック変数2, 3の記述変更 P5 c2 のデータサイズを修正 P30	セラノ 萩原 オムニチュア 安田
2007/07/03	1.08	変数の説明を更新 P5 セキュリティについて の記述を更新 P9 トラフィック、コマース変数の使用可能枠の記述を更新 P14 変数の記述を更新 P5,P6	オムニチュア 安田
2007/07/05	1.09	mod_ktrack のインストール方法を 2 に集約 Apache2.0.x 系の対応バージョンを 2.0.48 以上に変更。 P9 指定ディレクトリを計測対象外にするディレクティブの記述を変更。 P24	オムニチュア 安田 セラノ 萩原
2007/07/12	1.10	KtrackSendParams ディレクティブのパラメタ指定方法を変更。P15 KtrackSSLPort のディレクティブの利用方法について追記。P17	セラノ 萩原
2007/07/30	1.11	KtrackReplaceSID ディレクティブの設定を追加。P22	セラノ 萩原
2007/08/04	1.12	タグ貼り付け例 の文言を修正(ユニーク ID→セッション ID) P9	オムニチュア 安田

2007/10/30	1.13	KtrackLogServerAddress の記述を追加	オムニチュア 安田
2007/12/25	1.14	バーチャルドメイン時のインストール方法 の記述を追加	オムニチュア 安田
2008/02/01	1.15	KtrackUnique ディレクティブ使用時の注意点を追加	オムニチュア 安田
2008/02/04	1.16	KtrackSendParams ディレクティブ使用時の注意点を追加	オムニチュア 安田
2008/02/07	1.17	バーチャルホスト設定時の記述を追加	オムニチュア 安田
2008/03/27	1.18	KtrackGetTitleTag ディレクティブの設定を追加。 KtrackSendInternalURL ディレクティブの設定を追加。 KtrackUnusedLinkNo ディレクティブの説明を追加 mod_ktrack のシステム要件に対応 OS を追加。 メニュー構成を変更。 2. mod_ktrack のインストールと3. mod_ktrack の設定で章立てを分割。4. mod_ktrack の制約に情報を追加。 5. 公式サイトに対応に情報を追加	セラノ 萩原
2008/06/16	1.19	モジュールのセッションハンドリングに関する過去からの経緯説明を追加	オムニチュア 安田
2008/07/17	1.20	c1,c4 パラメータに格納するデータの説明を追加 P20	オムニチュア 安田
2008/09/20	1.21	KtrackSendInternalTimeout/KtrackURLBeforeRewrite ディレクティブの設定を追加。	セラノ 萩原
2008/09/30	1.22	KtrackSendInternalTimeout ディレクティブの記述を更新 P29 モジュールのセッションハンドリングに関する過去からの経緯説明へ追記 P40 モジュールの出力するログに関する過去からの経緯説明を追加 P41	オムニチュア 安田
2008/10/08	1.23	KtrackSessionId ディレクティブの記述を追加 P31	オムニチュア 安田
2008/11/12	1.24	KtrackUnique ディレクティブの記述を追加	オムニチュア 安田
2009/1/12	1.25	KtrackUncheckedExternalDomain ディレクティブの記述を追加 KtrackUncheckedURL の記述へ caution を追加 1. mod_ktrack の説明にて、パラメータの省略表記を追加	オムニチュア 安田
2009/2/9	1.26	・キャンペーン変数をリンク、Form に持ちまわさない仕様へ変更した 為、v0 の記述内容を削除 P8,P10,P36,P40,P41,P46,P47 また、複数のキャンペーン変数を使用する場合の制限について追記 P21 ・キャンペーン変数のデフォルトを v0 から cid へ変更 P21	オムニチュア 安田

		・KtrackURLMatchValue に動的変数の記述を追加 P22	
2009/2/26	1.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KtrackRDTrackingURL の制限事項を追加 P25</li> <li>・KtrackErasePathinfo に追加事項を記入 P23</li> <li>・KtrackSessionId に追加事項を記入 P31</li> <li>・KtrackKeepParams に追加事項を記入 P28</li> <li>・4. 5 リファラ情報 の記述を一部修正 P28</li> </ul>	オムニチュア 安田
2009/5/20	1.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SetInputFilter/ SetOutputFilter の説明 “Apache2.0.x で必須指定項目”の記述を”Apache2 以上で必須指定項目”へ修正 P31</li> <li>・KtrackUnique の機能追加内容を記入 P19</li> </ul>	オムニチュア 安田
2009/9/7	1.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>P26「18.KtrackRDTrackingURL」のタイトル抜けを修正</li> <li>P32 mod_ktrack のディレクティブ設定サンプル図内の KtrackCampaign デフォルト値を cid に修正</li> <li>P40 サンプルの場合のリダイレクト URL の図より v0 の記述を削除</li> </ul>	オムニチュア 安田
2009/10/16	1.29	p26 KtrackRDTrackingURL のタイトルが抜けていたのを修正	オムニチュア 安田
2009/12/15	1.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.12 au 端末でアクセスした場合、ビーコン用の&lt;img&gt;タグに copyright=yes を付ける説明を記入。</li> <li>P.24 KtrackURLMatchValue の機能拡張事項を記入</li> <li>P.35 KtrackGURLMatchValue ディレクティブ設定を追加。</li> <li>P.34 KtrackMeasureContentType ディレクティブ設定を追加。</li> <li>P.35 KtrackEnableTimeOutLog ディレクティブ設定を追加。</li> <li>P.35 KtrackDisableIpAddress ディレクティブ設定を追加。</li> <li>P.38 専用のコメントタグにより計測する方法 についての記述を追加</li> </ul> <p>Location ヘッダを使ってのリダイレクト時に、指定された URL にアンカー(#)が指定されている場合、トラッキング用のパラメータはアンカーの前に付加するように修正。</p>	セラノ 萩原
2010/01/15	1.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>KtrackURLMatchValue、KtrackGURLMatchValue、KtrackReplaceSID のディレクティブ設定項目に注意書きを追加。</li> <li>KtrackGURLMatchValue、KtrackMeasureContentType、KtrackEnableTimeOutLog、KtrackDisableIpAddress 及び項番 3.4 の記述を更新</li> <li>4. 14. モジュールの出力するログについての記述を追加</li> </ul>	セラノ 萩原  オムニチュア 安田
2010/01/21	1.32	KtrackUnique に指定されたパラメータの参照方法についての説明を追加	セラノ 畑
2010/02/12	1.33	<ul style="list-style-type: none"> <li>KtrackSetHashFunction ディレクティブ設定を追加</li> <li>KtrackSendParams の注意書き及び、KtrackURLBeforeRewrite の注意書きを追加</li> <li>P10 セッション ID の説明書きを修正</li> <li>P12 img タグ貼り付け例を修正</li> <li>P12 セキュリティについての記述を変更</li> </ul>	セラノ 畑 アドビ 安田

		<p>33.KtrackGURLMatchValue の例の説明を一部修正</p> <p>P43 c2 パラメータ長の記述を変更</p> <p>4. 4. 0. キャリア別 UID 参照先データ および4. 4. 1. セッションIDの取得先優先順位 の記述を追加</p>	
2010/04/07	1.34	<p><b>【新規追加】</b></p> <p>4. 15. モジュールの出力するメッセージについて</p> <p><b>【更新】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P11 img タグを張り付けない場合を DocomoSSL→全てのキャリアの SSL 通信時に変更</li> <li>・以下ディレクティブの説明を一部更新(主な更新箇所を赤字で記載)</li> </ul> <p>KtrackUnique /KtrackURLMatchValue /KtrackSendParams /KtrackCarrierUA /          KtrackSSLPort /KtrackSSLHeader /KtrackMobileOnly /KtrackUnusedLinkNo          KtrackKeepParams/KtrackGetTitleTag/KtrackURLBeforeRewrite          /KtrackUncheckedExternalDomain/KtrackGURLMatchValue /KtrackMeasureContentType          /KtrackEnableTimeoutLog /KtrackDisableIpAddress /KtrackSetHashFunction          /SetInputFilter / SetOutputFilter /KtrackRDTrackingURL</p> <p>以下項目の説明を一部更新（主な更新箇所を赤字で記載）</p> <p>3. 4. 専用のコメントタグにより計測する方法</p> <p>4. 1 パフォーマンス</p> <p>4. 2. Content-Type</p> <p>4. 3. コンテンツサイズ</p> <p>4. 8. SSL 通信時の制約について</p> <p>4. 11. FLASH の計測について</p> <p>4. 13. モジュールのセッションハンドリングについて</p> <p><b>【訂正】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KtrackSendInternal---実際は引数なしの設定はできない為、該当項目を削除</li> <li>・4. 4. 0 キャリア別 UID 参照先データ</li> </ul> <p>docomo の UID 取得優先度の記述について優先度1と2の順番の間違いを訂正</p>	アドビ 安田
2010/4/22	1.35	<p><b>【更新】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4. 1 パフォーマンス</li> <li>・KtrackURLMatchValue,KtrackSendParams,専用タグ(SiteCatalyst_Mobile_Measurement)に計測の優先順位を追加</li> </ul> <p>27. KtrackGetTitleTag の使用する変数が pageName から gn に変更された点を追加 P36</p>	アドビ 安田
2010/10/29	1.36	<p><b>【新規追加】</b></p>	アドビ 鈴木

		<p>以下の章を追加。</p> <p>4. mod_ktrack の運用</p> <p>5. FAQ</p> <p><b>【更新】</b></p> <p>マニュアルの記載順序を以下のように変更</p> <p>(旧)</p> <p>1. mod_ktrack の説明</p> <p>    1. 1. mod_ktrack の貼付タグ情報</p> <p>    1. 2. mod_ktrack のシステム要件</p> <p>2. mod_ktrack のインストール</p> <p>3. mod_ktrack の設定</p> <p>4. mod_ktrack の制約</p> <p>5. mod_ktrack の公式サイト対応について</p> <p>(新)</p> <p>1. mod_ktrack の説明</p> <p>    1. 1. mod_ktrack の貼付タグ情報</p> <p>    1. 2. mod_ktrack のシステム要件</p> <p>    1. 3. mod_ktrack の制約</p> <p>2. mod_ktrack のインストール</p> <p>3. mod_ktrack の設定</p> <p>4. mod_ktrack の運用</p> <p>5. FAQ</p> <p>Appendix A mod_ktrack の公式サイト対応について</p> <p>Appendix B (従来「4. mod_ktrack の制約」に含まれていた内容の一部)</p>	
2011/1/31	1.37	<p><b>【更新】</b></p> <p>P10 「クイック導入ガイド」→「SiteCatalyst 導入ガイド」へ変更</p> <p>KtrackCampaign に関する仕様上の記述を更新</p> <p>2. 5. Apache の再起動 の手順、および注意書きを更新(更新箇所は、青でハイライト)</p>	アドビ安田
2011/3/30	1.38	<p><b>【新規追加】</b></p> <p>1. 3. 5. セッション ID の許容文字について</p>	アドビ鈴木
2011/9/8	1.39	<p><b>【新規追加】</b></p> <p>3. 2. mod_ktrack のディレクティブ設定</p> <p>KtrackUncheckedURL および KtrackRDTracking ディレクティブの説明注意書きを追加。</p>	アドビ安田
2011/10/13	1.40	<p><b>【更新】</b></p> <p>p46 ページ名取得用変数(gn)の取得先優先順位について、記載内容を訂正</p>	アドビ安田



## はじめに

この mod\_ktrack for SiteCatalyst 取扱説明書は、株式会社セランの提供する MOBYLOG ENGINE(mod\_ktrack)の機能を、SiteCatalyst に対応させたバージョンのモジュール説明書です。

ここに記載されている内容は、アドビシステムズ 株式会社の監修を受けています。

## 著作権について

本説明書の文章・写真・イラスト・動画・プログラム等(以下コンテンツという)の著作権等は、弊社に帰属します。著作権法が定める場合を除いて、著作権者の許諾なくコンテンツを複製、変造、第三者への貸与、配布等いかなる目的にも利用することはできません。

## 免責事項

本説明書で提供している各種情報につきましては、お客さまに不測の損害・不利益等が発生しないよう適切に努力し、最新かつ正確な情報を掲載するよう注意を払っておりますが、その内容の完全性、正確性、有用性等について保証をするものではありません。したがって弊社は、お客さまが当該情報に基づいて起こされた行動によって生じた損害・不利益等に対していかなる責任も負いません。



## INDEX

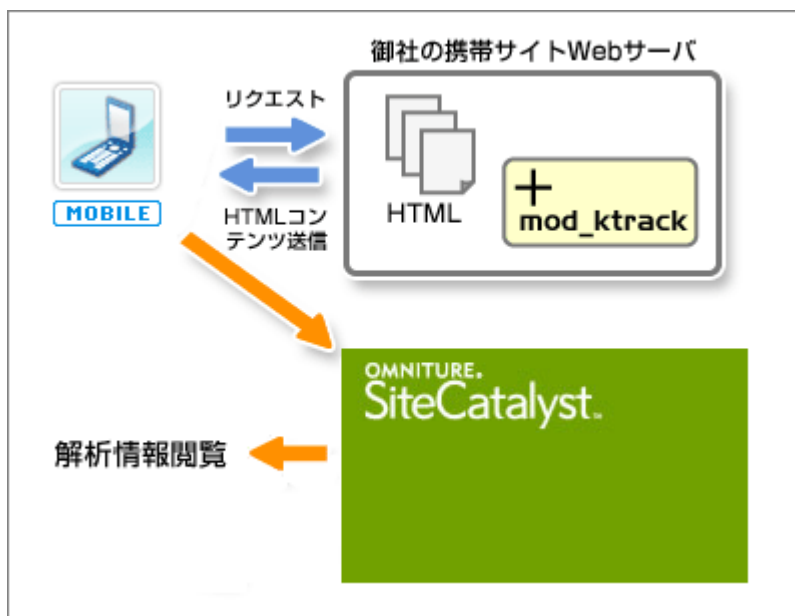
1. mod_ktrack の説明.....	11
1. 1. mod_ktrack の貼付タグ情報 .....	13
1. 1. 1. <a>タグに貼り付ける情報.....	13
1. 1. 2. <form>タグに貼り付ける情報.....	14
1. 1. 3. <img>タグに貼り付ける情報 .....	14
1. 2. mod_ktrack のシステム要件.....	15
1. 3. mod_ktrack のセッション情報と解析パラメタ.....	16
1. 3. 1. キャリア別 UID 参照先データ.....	16
1. 3. 2. セッション ID の取得先優先順位.....	16
1. 3. 3. セッションが切れる原因.....	16
1. 3. 4. 空メールの解決方法 .....	17
1. 4. mod_ktrack の制限.....	18
1. 4. 1. パフォーマンス .....	18
1. 4. 2. Content-Type .....	18
1. 4. 3. コンテンツサイズ .....	18
1. 4. 4. リファラ情報 .....	19
1. 4. 5. 対応 OS について .....	19
1. 4. 6. 環境依存について.....	19
1. 4. 7. SSL 通信時の制約について.....	20
1. 4. 8. ソケット通信時のエラーについて .....	20
1. 4. 9. HDML コンテンツについて .....	21
1. 4. 10. PHP の Pager クラスのご利用について .....	21
1. 4. 11. FLASH 画面の計測について.....	22
2. mod_ktrack のインストール .....	24
2. 1. mod_ktrack の設定.....	24
2. 2. Apache のコンフィグレーション変更.....	24
2. 3. バーチャルホスト時の設定方法 .....	25
2. 4. Apache のコンフィグレーション確認.....	26
2. 5. Apache の再起動.....	26
2. 6. mod_ktrack の更新方法.....	27
2. 7. mod_ktrack のアンインストール方法 .....	27
2. 7. 1. mod_ktrack の無効化 .....	27
2. 7. 2. mod_ktrack の完全なアンインストール .....	28
3. mod_ktrack の設定.....	29

3. 1. mod_ktrack のディレクティブ一覧 .....	29
3. 2. mod_ktrack のディレクティブ設定 .....	31
3. 3. mod_ktrack のディレクティブ設定サンプル .....	51
3. 4. 専用のコメントタグにより計測する方法 .....	53
4. mod_ktrack の運用.....	55
5. FAQ.....	56
Appendix A. mod_ktrack の公式サイト対応について .....	58
1. mod_ktrack 公式サイト対応の基本的な仕様 .....	58
2. 会員登録までの処理シーケンスと画面遷移 .....	59
2. 1. 処理シーケンス図 .....	59
2. 2. 画面遷移図.....	60
3. 実際に付加されるパラメタ.....	60
3. 1. mod_ktrack モジュールが利用するパラメタ領域 .....	61
3. 2. mod_ktrack モジュールが利用するパラメタ領域 .....	61
4. 課金方式の対応状況.....	61
Appendix B. その他の情報 .....	63
1. モジュールのセッションハンドリングについて.....	63
2. モジュールの出力するログについて .....	63
3. モジュールの出力するメッセージについて.....	64
4. mod_ktrack パフォーマンス検証結果.....	64
4. 1. 前提条件 .....	64
4. 2. 検証結果 .....	65
4. 3. 算出例.....	65
以上 .....	65

## 1. mod\_ktrack の説明

mod\_ktrack は、貴社のサイトの Web サーバにインストールする専用モジュールです。お客様の Web サーバにインストールすることで、ASP サーバにユーザのアクセス情報が蓄積され、そのアクセス情報を ASP サービスで参照することができます。

システム構成図



mod\_ktrack によって集計サーバ上に蓄積される情報

項目名/変数名(省略表記名)	種類	備考
カンパニーID	設定変数	サイトカタリストのクライアント毎にユニークな ID を設定します。 (デフォルトで設定されます)
RSID	設定変数	RSID(レポートスイート ID)は、サイトカタリストのレポート毎にユニークな識別 ID を指定します。 例) mycompanymbloj (デフォルトで設定されます)
charSet(ce)	設定変数	マルチバイトの文字コードを計測サーバに知らせる変数です。
Name Space(ns)	設定変数	SiteID に指定した値が設定されます。(デフォルトで設定されます)
Currency(cc)	設定変数	JPY(デフォルトで設定されます)
ページ名/pageName(gn)※	トラフィック変数	ページ名を計測する際に使用します。 例) Fashion: Shoes, Sports: Golf, etc
チャネル/ch	トラフィック変数	複数のページをグループ毎に計測する場合に使用します。 例) Shop, Catalog, Search, Order, etc.
カスタム インサイト/ c1-c50	トラフィック変数	ページ単位で取得したいデータを格納する汎用的な変数です。 最大 50 種類の設定が可能です。

		<p>例)サイト内検索キーワード、検索結果数、etc.</p> <p><b>【システム予約変数】</b></p> <p><b>現在、以下の変数がシステム側で使用されています。</b></p> <p><b>トラフィック変数 1(c1):</b></p> <p>携帯のユーザーエージェントが格納されます。</p> <p>例)DoCoMo/2.0 SH903i(c100;TB;W24H16)</p> <p><b>トラフィック変数 4(c4):</b></p> <p>携帯の機種情報が格納されます。</p> <p>例)SH903i</p>
キャンペーン変数/v0	コマース変数	<p>キャンペーン時に設定するトラッキングコードを格納します。</p> <p>例)ab123, g005 etc.</p>
イベント変数/events(ev)	コマース変数	<p>ユーザの行動イベントを計測する為に使用します。</p> <p>例)"event1","prodView","scAdd" etc.</p>
製品変数/products(pi)	コマース変数	<p>ユーザが購入した製品情報を計測する為に使用します。</p> <p>例)";Shoes"</p>
購入 ID/purchaseID(pi)	コマース変数	<p>購買行動の重複カウントを防ぐ為に使用します。</p> <p>(必須ではありませんが推奨です。)</p> <p>購入毎に、ユニークな 20 桁までの整数を割り当てて使用します。</p>
汎用コマース変数/ v1-v50	コマース変数	<p>ユニークなユーザー毎に計測したいデータを格納する汎用的な変数です。</p> <p>例) 性別、年代、会員/非会員ステータス etc.</p>
URL/g	トラフィック変数	<p>デフォルトで計測されます。</p>
リファラ URL/ r	トラフィック変数	<p>リファラ URL を格納する為に使用します。</p> <p>例) http://mydomain.co.jp/top.html</p>
郵便番号(zip)	zip	<p>サイト訪問者の郵便番号を計測します。</p> <p>有効期限がページ単位のコマース変数と同様のレポートが表示されます。</p>
州(state)	state	<p>有効期限がページ単位のコマース変数と同様のレポートが表示されます。</p>

※省略表記名を設定ファイル内で使用する事により、計測データサイズを縮小することが可能です。

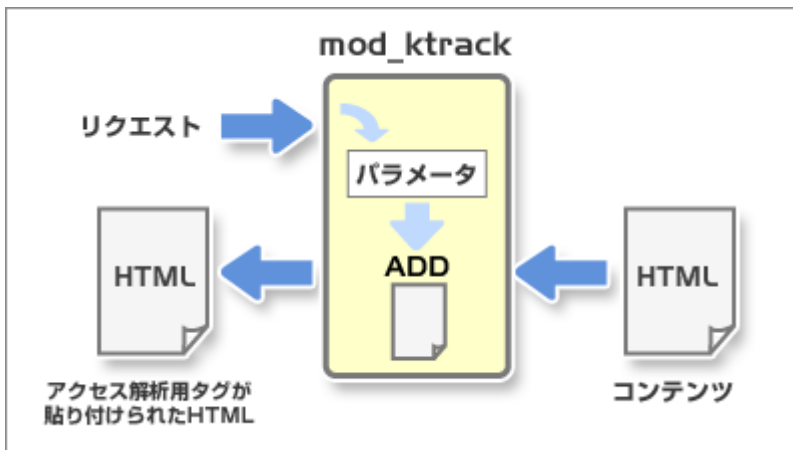
#### NOTE

詳しい変数の設定方法は、[【SiteCatalyst 導入ガイド】](#)※をご参照ください。

※SiteCatalyst のヘルプから取得できます。 ヘルプ>製品マニュアル>サイトカタリスト導入ガイド

mod\_ktrack をインストールした Web サーバのコンテンツにアクセスすると、mod\_ktrack は自動的にリクエストされた URL の HTML コンテンツに解析用タグを貼り付けます。

mod\_ktrack のタグ貼り付けイメージ



**NOTE**

mod\_ktrack は GET/POST の両メソッドに対応しています。

### 1. 1. mod\_ktrack の貼付タグ情報

携帯サイトに mod\_ktrack が貼り付けるタグ情報は以下の通りです。

No	タグ	説明
A	<a>タグ	すべての<a>タグの URL の末尾にパラメータを追加します。
B	<form>タグ	すべての<form>タグに HIDDEN タグを追加します。
C	<img>タグ	</body>の前に<img>タグを追加します。 </body>が無い場合、コンテンツの最後に<img>タグを追加します。 ※全てのキャリアにおいて SSL 通信時は<img>タグは貼り付けません。

#### 1. 1. 1. <a>タグに貼り付ける情報

c2	セッション ID	ユーザー判別用の ID を付加します。
----	----------	---------------------

■<a>タグに情報貼り付け例

mod\_ktrack を通す前

```
<a href="contents/campaign/top.html">
```

会員登録する

</a>



mod\_ktrack を通した後

<a href="contents/campaign/top.html

?c2=7959680125

#セッション ID

">

会員登録する

</a>

### 1. 1. 2. <form>タグに貼り付ける情報

c2	セッション ID	ユーザー判別用の ID を付加します。
----	----------	---------------------

#### ■ <form>タグに情報貼り付け例

mod\_ktrack を通す前

<input type="submit" value="送信">

</form>



mod\_ktrack を通した後

<input type="submit" value="送信">

<input type="hidden" name="c2" value="7959680125">

#セッション ID

</form>

### 1. 1. 3. <img>タグに貼り付ける情報

mod\_ktrack は、</body>の前に解析用の img タグを貼り付けます。

この img タグの URL は、ASP サーバを指しており、この img の URL に解析用のパラメタが付いているので、解析を行うことができます。

#### ■ img タグ貼り付け例

<img src=

"http://【カンパニー】.112.2o7.net/b/ss/【rsid】/1/H.5-pdv-2/【ランダム値】

?【AQB】&ndh=1

&t=【DD/MM/YYYY】%20【TT】%3A【MM】%3A【SS】%20【週】%20【タイムゾーン】

```

&ce=SHIFT_JIS

&ns=【ネームスペース (KtrackSiteID に指定した値を代入する)】

&g=【アクセスページ URL】

&r=【リファラ URL】                # 設定した場合のみ

&vid=【セッション ID】              # 個体識別番号が取得できなかった場合は、ランダム値を生成

&v0=【キャンペーン変数】           # 取得できた場合のみ

&[さらに KtrackURLMatchValue、KtrackGURLMatchValue、KtrackSendParams で指定された値]

&[AQE]"

copyright="yes"                      # au 端末でアクセスした場合に属性情報が付加される

>
</body>

```

• CAUTION </body>が無い場合は、コンテンツの最後に<img>タグを付加します。

■ セキュリティについて

携帯のリクエスト内容からユーザーID 情報が取得できた場合、ハッシュ化アルゴリズム※1 を用いて非可逆暗号化を掛けた上で SiteCatalyst のセッション管理用変数 vid(visitorID)に設定されます。この処理により、個人情報に該当する情報が弊社の計測サーバへ蓄積される事はありませんが、お客様が追加で行うカスタム設定の内容によっては、サイト上で入力された個人情報を計測する設定が可能となる為、個人情報に該当する情報に関してはくれぐれも SiteCatalyst で計測しない様、ご注意ください。

※1 KtrackSetHashFunction ディレクティブにより、Adler32(9-10 桁整数)若しくは md5(32 桁の英数字)の何れかのハッシュ方式が選択できます。尚、Adler32 の場合 **エンディアンの変換は実施していません。**

1. 2. mod\_ktrack のシステム要件

現在の、mod\_ktrack のシステム要件は以下の通りです。

対象 OS	Linux 互換 OS (RedHat Linux 推奨) / FreeBSD / Solaris 9, 10(SPARC, x86) Windows 2000 Server (SP4 推奨)
対象 Web サーバ	Apache 1.3.28 以上 DSO インストール (64bit OS をお使いの場合は 1.3.34 以上) Apache 2.0.48 以上 DSO インストール Apache 2.2.3 以上 DSO インストール 環境依存による問題点については「1. 4. 6. 環境依存について」を参照下さい。

apache がコンパイルできる環境であれば mod\_ktrack を動作させることはできますが、現在ソース提供は行っておりませんので、ご希望のお客様はお問い合わせ下さい。

### 1. 3. mod\_ktrack のセッション情報と解析パラメタ

mod\_ktrack で自動的に発行するセッション ID(デフォルトで c2)は mod\_ktrack をインストールしたサイト内でのみ自動的に引き継がれます。mod\_ktrack がインストールされていないサイトへ遷移し、そのサイトから再度 mod\_ktrack がインストールされているサイトへ遷移した場合、再度セッション ID が発行されて新規 VISIT と認識します。

#### 1. 3. 1. キャリア別 UID 参照先データ

モジュールが発行するセッション ID は、以下の ID 情報を元にハッシュ化アルゴリズムを使用して生成しています。

Docomo の場合

優先度1 UID --- get パラメータ uid=12 桁の英数字

優先度2 i モード ID --- http ヘッダ(x-DCMGUID)の値 7 桁の英数字

※両 ID とも ssl ページでの取得はできません。 ※優先度1が2より優先されます。

AU の場合

ユーザーID --- http ヘッダ(x-up-subno)の値 EZ 番号通知設定で ON/OFF が可能です。

Softbank/Disney の場合

ユーザーID --- http ヘッダ(x-jphone-uid)の値 ユーザ ID 通知設定で ON/OFF が可能です。

※上記 ID 情報は、直接サイトカタリストに送信される事はありません。

#### 1. 3. 2. セッション ID の取得先優先順位

モジュールが発行したセッション ID は、以下の優先順位で次ページへ引き継がれます。

優先度1 前ページ(get/post リクエスト内)の c2 パラメータ

優先度2 1. 3. 1 記載のキャリア別 UID

優先度3 KtrackReplaceSID で設定したパラメータ

優先度4 ランダムで生成したセッション ID

※優先度1が最優先です。

※携帯から UID が取得できなかった場合は、ランダムで生成したセッション ID が持ちまわされる事になります。

※セッション ID は、ユーザーが計測対象サイトから離脱しない限り、同じ値が持ちまわされます。

#### 1. 3. 3. セッションが切れる原因

セッションが切れる原因としては、以下が考えられます。

- ① mod\_ktrack がインストールされていない計測外のページを経由する場合。



- ② EC サイトで決済部分に ASP を利用している場合。
- ③ 空メールを利用している場合。

お客様のシステムが介在していない①および②に関しては引継ぎが困難な場合があります。③に関しては次の「空メールの解決方法」をご覧ください。

#### 1. 3. 4. 空メールの解決方法

会員登録や資料請求など、サイトの成果ページと位置づけるページ遷移の中に、空メールを利用しているシステムの場合、セッションコードや解析パラメタなどを引き継ぐことができないため、効果測定のコバージョンや VISIT 数など、正確な計測ができません。

これは、空メール送信後にユーザに返ってくるメール内の URL に計測で必要になるセッションコードや解析パラメタが付いていないためです。

この問題を解決するためには、お客様側のシステムをカスタマイズして頂く必要があります。カスタマイズが必要になるシステムを「例」として以下に記します。

##### ① メールを起動する画面

空メールを起動する際に、body 内にモジュール用のパラメタを入れて下さい。

パラメタ名	必須	サイズ	備考
c2	○	12 ~ 35byte※	mod_ktrack が自動発行するセッションコード

※”c2=”を含めた場合のサイズを指します。

例)

```
<a href="mailto:hagiwara@cellant.jp?subject=メール起動テスト&body=c2=[$c2]">
空メール送信
</a>
```

##### ② 返信メールを生成するプログラム

空メールの BODY 内に入れた解析用のパラメタを含んだ URL をユーザに返信して下さい。これを行うことで、セッションが切れずに解析を行うことが可能になります。

※ただし、ページ遷移に 30 分以上を要した場合は再訪問として扱われます。

#### 1. 3. 5. セッション ID の許容文字について

mod\_ktrack はリクエストに含まれるセッション ID を常にチェックしており、不正な文字が含まれる場合にはその値を破棄して新しいセッション ID を生成します。セッション ID として許容する文字は設定されたセッション ID 生成アルゴリズムによって異なり、

- adler32 の場合は 10 進数の文字のみを許容
  - md5 の場合は 16 進数の文字のみを許容
- となります。

(通常 mod\_ktrack によって発行・維持されるため、許容されない文字がセッション ID に含まれることはありません)

## 1. 4. mod\_ktrack の制限

### 1. 4. 1. パフォーマンス

mod\_ktrack は、出力されるコンテンツ(xHTML 等の記述言語)を解析して情報を貼り付けるため、Web サーバのパフォーマンスがダウンします。

モジュールにかかる実際の負荷は、下記条件の程度に応じて増減します。

1. a タグ、form タグの数が多い場合
2. form タグが入れ子になっている場合
3. html ファイルのコンテンツサイズが大きい場合
4. Content-Type が multipart/form-data でファイルのアップロードを行う場合

### 1. 4. 2. Content-Type

mod\_ktrack は、レスポンス出力時の Content-Type が、「text/html」もしくは「application/xhtml+xml」以外の場合には処理をしません。※例外として、上記以外に `KtrackMeasureContentType` にて設定した Content-Type の場合のみ、ソケット通信にて計測を行います。

### 1. 4. 3. コンテンツサイズ

mod\_ktrack は、出力されるコンテンツ(xHTML 等の記述言語)に情報を付加するため、通常出力するよりもコンテンツサイズが大きくなります。

リンクやフォームの数が多いほど、付加する情報が多くなります。

参考値) mod\_ktrack で付加する情報

```
#http://mobile.hoge.jp/index.html 内のリンクで result.html に遷移する<a>タグ
<a href="" contents/campaign/result.html
?c2=7959680125
">
```

この例では1つの<a>タグで約 13Byte追加されます<sup>1</sup>。

※KtrackSetHashFunction にて md5 を選択した場合は、35Byte となります。

よって、端末の受信サイズの MAX 値に近いサイズのコンテンツを作成している場合は、コンテンツサイズが受信

<sup>1</sup> ktrack.conf のディレクティブ設定した KtrackUnique のパラメータ数により変化します。

サイズの MAX 値を超える可能性があります。

また、受信サイズのMAX値を超えると、mod\_ktrackで貼り付けた解析用のimgタグが端末側で表示できない可能性があります<sup>2</sup>。

その場合、ASP サーバにログ情報が残らないため、正確なアクセス解析を行うことができなくなります。

コンテンツを作成する場合は、十分コンテンツサイズに気を付けるか、または ktrack.conf のパラメタに KtrackLimitCache、KtrackSendInternal という設定項目がありますので、こちらを設定して下さい。

**⚠CAUTION** SoftBank の 3G 端末では、端末のキャッシュサイズが 300K となっていますが、これは HTML コンテンツサイズ+画像等のサイズの合計値です。

各端末によってHTMLコンテンツサイズの上限值が異なりますので、お客様がコンテンツプロバイダーの場合は各端末の仕様書をご覧頂き、HTML コンテンツサイズの上限值をご確認下さい。

尚、HTML コンテンツサイズの上限値は端末仕様書の制限事項にある「ルートドキュメント」で指定されている制限がこれにあたるようです。

#### 1. 4. 4. リファラ情報

ドコモの端末においては、リファラー情報が取得できない為、PC のアクセス解析ツールように(例えば Google などの)検索サイトからどのキーワードで訪問したのか等を取得することはできません。

※2009 年夏モデルの端末より、リファラーの取得が可能になりました。

#### 1. 4. 5. 対応 OS について

mod\_ktrack は 1. 2. で示したバージョンにのみ対応しています。apache がコンパイルできる環境であればソースコンパイルも可能ですが、環境による動作保証ができないため、現在はダウンロードで提供しておりません。

ソースからのコンパイルをご希望のお客様は、お問い合わせ下さい。

#### 1. 4. 6. 環境依存について

環境によっては、提供する mod\_ktrack が正常に動作しないケースがあります。

**⚠CAUTION** ここに記載している環境でも、動作するケースもあります。実際には導入後に確認できる事象ですので、予めご了承下さい。

##### ① mod\_perl がインストールされている。

Apache1.3 系の環境の場合、mod\_ktrack と mod\_perl が同居すると、apache が Segmentation Fault を起こすケースがあります。この場合、お客様の環境でモジュールコンパイルをさせて頂く必要がございます。お客様の環境でコンパイルしたモジュールは問題なく動作致します。

環境依存によるエラーですが、全ての環境で発生するものではありません。弊社から提供するバイナリファイルで動作確認をして頂き、問題が発生した場合、弊社側で作業を行わせて頂きます。

<sup>2</sup> SoftBank 端末の場合は、キャッシュ容量をオーバーするとキャリアゲートウェイ側でエラーハンドリングし、携帯の画面にエラー画面を表示させます。

② **WebLogic8.1 SP4(mod\_weblogic)がインストールされている。**

mod\_ktrack と WebLogic8.1 SP4 の mod\_weblogic が同居すると、レスポンスヘッダーの content-type が文字化けを起し、content-length が 0 で返されるため、携帯端末でコンテンツ表示できなくなるケースがあります。この件について原因は判明されていません。

尚、WebLogic8.1 SP4 から SP5 にバージョンアップいただくことで解消されたという報告がありますが、全ての環境で当現象が解消されるものではありません。

③ **apache1.3.x 系で mod\_ssl 以外の SSL 通信用ミドルウェアを使っている。**

apache1.3.x 系で mod\_ssl 以外の SSL 通信用ミドルウェア (例えば Apache-SSL など) を使っている場合、お客様の環境でソースからコンパイルする必要があります。

④ **php の configure オプションにて、--with-apxs2filter を指定してビルドしている。**

php を filter として動作させた場合、php 処理後に実行される filter にはレスポンスデータを渡さないようになっているようです。

mod\_ktrack は php が動作した後に処理を行うので、この制約に引っかかって何も処理がされません。

この現象を回避するには、php の configure オプションを、以下のように

変更前	--with-apxs2filter=/usr/sbin/apxs	変更後	--with-apxs2=/usr/sbin/apxs
-----	-----------------------------------	-----	-----------------------------

に変更して php を再ビルド&インストールを行っていただく必要があります。

⑤ **php が静的に組み込まれている。**

PHP が静的に組み込まれている場合、標準提供のモジュールでは動作しない場合があります。提供モジュールで動作しない場合は、お問い合わせ下さい。

#### 1. 4. 7. SSL 通信時の制約について

ドコモの場合、SSL 通信時には外部ドメインの画像をリクエストしないという制約があります。mod\_ktrack はコンテンツの最後にイメージタグを埋め込み、このイメージタグの URL が ASP サーバになっている関係上、ドコモの SSL 通信時のみお客様の Web サーバと計測サーバ間でソケット通信を行う必要があります。

この為、F/W を導入されている場合は、計測サーバに対して 80 番ポートを開けて頂く必要があります。

※モジュールが計測サーバ宛での通信時に使用するポートは 80 番で固定となります。

※特定の IP アドレス範囲やドメインのみ開放を設定する必要がある場合は、お客様毎に設定が異なる為、弊社担当者までお問い合わせください。

**※現在、モジュール側の設定により、全てのキャリアの SSL ページ計測時にソケット通信を使用しています。**

#### 1. 4. 8. ソケット通信時のエラーについて

SSL 通信時や KtrackSendInternal ディレクティブを指定している場合、mod\_ktrack はソケット通信を実行します。ソケット通信を実行しているタイミングに、ネットワーク障害等で通信不能状態になった場合、KtrackSendInternalTimeout に設定した 0.1～9.9 秒の間、携帯端末にコンテンツがレスポンスされません。timeout 後にコンテンツをレスポンスします。

#### 1. 4. 9. HDML コンテンツについて

mod\_ktrack は、出力されるコンテンツが HDML の場合、処理を実行しません。この為、HDML で作成されたページは計測の対象となりませんので、ご了承下さい。

#### 1. 4. 10. PHP の Pager クラスのご利用について

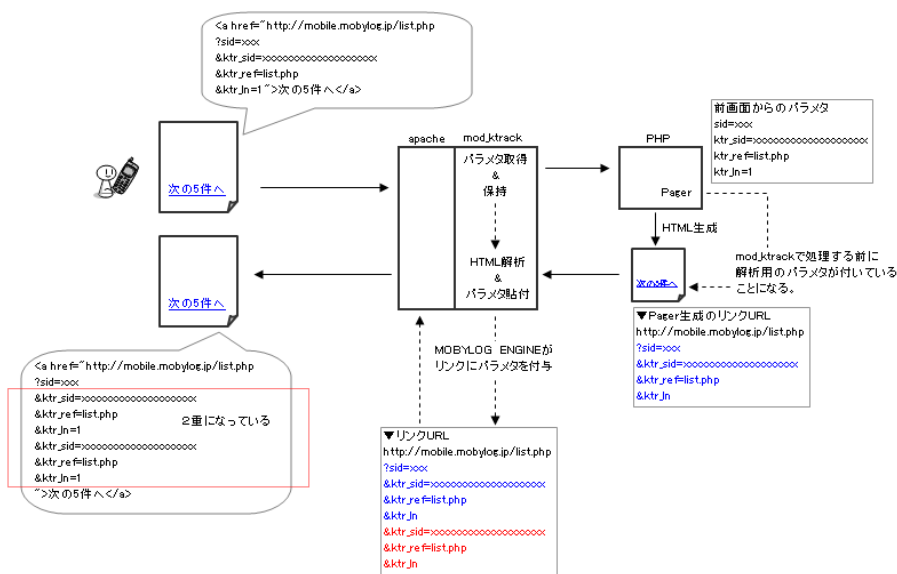
PHP の Pager クラスでリンクを生成しているサイトの場合、デフォルトの設定「\_importQuery = true」はご利用にならないください。

デフォルト設定「\_importQuery = true」は、前画面からのクエリ文字列を全てインポートしてリンク URL を生成します。

mod\_ktrack モジュールを導入しているページから Pager を利用しているページに遷移すると、Pager を利用しているページに mod\_ktrack が付加したパラメタが渡ります。

下図の用に、mod\_ktrack がインストールされているサイトで、Pager を利用すると mod\_ktrack 用のパラメタが2重になります。

この現象を回避するためには、Pager にインポートしているクエリ文字列から、mod\_ktrack モジュールで付与しているクエリ文字列を省く必要があります。



mod_ktrack パラメタ	説明	備考
c2	セッション ID	

また、PHPのPagerクラス以外にも、前画面から取得したパラメタを全て引き継ぐプログラムである場合は同様ですので、上表に挙げたパラメタはサイト側では引き継がないようにご注意ください。

#### 1. 4. 11. FLASH 画面の計測について

mod\_ktrack は swf ファイルには処理を実施しません。よって、FLASH 画面に遷移すると、計測に必要なパラメタが欠落してしまい、正しく計測することができなくなります。

FLASH 画面を利用しているサイトで正しく計測対象にするには、①FLASH 画面に遷移する前にリダイレクトページを挟み、そのリダイレクトページを計測対象とし、②FLASH 画面でパラメタを引き継ぐように swf をカスタマイズして頂く必要があります。

※20100202 版より、KtrackMeasureContentType ディレクティブが追加された為、①のリダイレクトページ用意せずに計測を行う事が可能になっています。

(swf ファイル内の動作は計測できません。あくまで swf のファイル単位での計測となります。)

##### ① リダイレクトページを挟み、リダイレクトページを計測対象とする。



FLASH 画面では、ビーコン用のイメージファイルをコールできません。FLASH からは外部イメージを読み込むことができないためです。この問題は、上図のように FLASH 画面に遷移する前にリダイレクトページ(ここでは『index.php』)を挟み、この index.php を計測対象とし、「リダイレクトした数=FLASH 画面を表示した数」と見なすことで解消することができます。

#### SAMPLE

リダイレクトページ「index.php」の PHP サンプル例)

```
<?php
    header("Location: http://www.hoge.jp/sample.swf");
?>
```

リダイレクトページ「index.php」を測定対象とするには、ディレクティブ設定を行います。

上図の場合の設定例)

```
KtrackRDTrackingURL http://www.hoge.jp/sample.swf* #リダイレクト先 URL を設定します。
```

- CAUTION** KtrackRDTrackingURL で指定する値は、Location ヘッダに指定する URL になります。  
 つまり、URL としては http://www.hoge.jp/sample.swf にリダイレクトするとしても、Location ヘッダに"/sample.swf"と指定されている場合は、"/sample.swf"と指定して下さい。  
 また、ワイルドカードが指定できますので、GET パラメタなどが付与されている可能性を考慮して、"/sample.swf\*"とすることを勧めます。

② FLASH 画面でパラメタを引き継ぐように swf をカスタマイズする。

- CAUTION** FLASH 側では、GET パラメタを読み込めると仮定します。(FLASH2.0 以降は可能)

①の設定を行うと、mod\_ktrack はリダイレクトする URL(この場合『http://www.hoge.jp/sample.swf』)に解析用のパラメタを付与します。

自動的に引き継がれるパラメタ

mod_ktrack パラメタ	説明	備考
c2	セッション ID	

当サンプルの場合のリダイレクト URL

```
http://www.hoge.jp/sample.swf?c2=セッション ID
```

FLASH に対して計測用パラメタが GET で渡りますので、FLASH 側で計測用パラメタを引き継ぐようにカスタマイズします。



通常の HTML コンテンツでは mod\_ktrack が自動処理を実施しますので開発をする必要はありません。

## 2. mod\_ktrack のインストール

mod\_ktrack を利用するためには、モジュールのインストール、Apache のコンフィグレーションの変更、Apache の再起動が必要になります。それぞれについての設定方法を以下に説明します。

### 2. 1. mod\_ktrack の設定

mod\_ktrack の設定は、設定ファイル「ktrack.conf」で行います。

詳しくは「3. mod\_ktrack の設定」をご覧ください。

### 2. 2. Apache のコンフィグレーション変更

次に Apache のコンフィグレーションファイル(通常は httpd.conf)を以下のように編集します。

- ① LoadModule ディレクティブが連続で宣言されている部分の最後に以下の行を追加します。

```
#1.3 系
LoadModule ktrack_module      libexec/mod_ktrack.so

#2.0 系／2.2 系
LoadModule ktrack_module      modules/mod_ktrack.so
```

- ② Apache1.3.x の場合に AddModule ディレクティブが連続で宣言されている部分の最後に以下の行を追加します。

```
AddModule mod_ktrack.c
```

- **CAUTION** AddModule が宣言されていない場合は必要ありません。

- ③ ファイルの最後に ktrack.conf を読み込むため以下の行を追加します。

■ Apache1.3x 系および 2.0.x 系

```
<IfModule mod_ktrack.c>
    Include conf/ktrack.conf
</IfModule>
```

■ Apache2.2.x 系

```
<IfModule ktrack_module>
```



```
Include conf/ktrack.conf
</IfModule>
```

#### NOTE1

##### ■特定のディレクトリ配下のみ解析対象としたい場合

ktrack.conf 内で<Location>ディレクティブの設定を行います。

例) http://www.hoge.jp/ のサイトで http://www.hoge.jp/service/ ディレクトリ配下を測定したい場合は<Location /service>とします。

##### ■特定のディレクトリだけ解析対象から省きたい場合

例えば、以下のような URL で、③と④配下を解析対象から省きたい場合は：

- ① http://www.hoge.jp/~
- ② http://www.hoget.jp/app/~
- ③ http://www.hoget.jp/app/admin/~
- ④ http://www.hoget.jp/kanri/~

ktrack.conf 内の最後に以下の設定を追加します。

```
<Location /app/admin>
    KtrackSiteID サイトID
    KtrackLicense disable-ktrack
</Location>
<Location /kanri>
    KtrackSiteID サイトID
    KtrackLicense disable-ktrack
</Location>
```

上記設定を行うことで、特定のディレクトリ配下を計測対象から省くことができます。

## 2. 3. バーチャルホスト時の設定方法

Apache がバーチャルホスト(VirtualHost)で運用されている場合の設定方法について、注意点が4つあります。

- ① LoadModule ディレクティブは、必ず VirtualHost ディレクティブの前に宣言します。
- ② モジュールの動作を有効にしたいドメインの VirtualHost ディレクティブ内に、IfMofule ディレクティブを宣言し ktrack.conf 設定ファイルを Include します。
- ③ http と https で別の VirtualHost ディレクティブで設定されている場合は、それぞれの Apache 設定ファイル上で VirtualHost ディレクティブを使用し ktrack.conf を include する必要があります。
- ④ 複数のドメインで計測する場合は、各ドメイン専用の ktrack.conf を読み込んでください。

例) DomainA の設定 ktrack\_a.conf    DomainB の設定 ktrack\_b.conf

※異なるドメイン間で同じ設定ファイルを使用すると、計測データが 1 つのレポートへ合算されてしまいます。

設定例)

```
:(省略)
LoadModule ktrack_module <path-to-module>/mod_ktrack.so
:(省略)
#domainAのVirtualHost
<VirtualHost XXX.XXX.XXX.XXX>
:(省略)
    ServerName domainA
:(省略)
    # mod_ktrackを有効にする。
    <IfModule mod_ktrack.c>
        Include <path-to-conf>/ktrack_a.conf
    </IfModule>
</VirtualHost>

#domainBのVirtualHost
<VirtualHost YYY.YYY.YYY.YYY>
:(省略)
    ServerName domainB
:(省略)
</VirtualHost>
```

## 2. 4. Apache のコンフィグレーション確認

変更した設定に間違いがないか確認するために、Apache の configtest を実施します。

```
<Apache のインストールディレクトリ>/bin/apachectl configtest
```

- **CAUTION** rpm などのパッケージでインストールされている場合は、上記のディレクトリではなく、パッケージで定められたディレクトリになります。

設定ファイル内のディレクティブを設定変更した場合は、configtest を実施して下さい。

## 2. 5. Apache の再起動

変更した設定を有効にするために、Apache の再起動を行います。以下のコマンドを実行します。

```
<Apache のインストールディレクトリ>/bin/apachectl stop
<Apache のインストールディレクトリ>/bin/apachectl start
```

- **CAUTION** rpm などのパッケージでインストールされている場合は、上記のディレクトリではなく、パッケージで定められたディレクトリになります。

設定ファイル内のディレクティブを設定変更し有効にする場合は、apache の再起動 (stop | start) が必要になります。

**【注意】**

mod\_ktrack.so ファイルの追加後の Apache 再起動は、必ず stop/start で実施してください。graceful コマンドでは、モジュールが正しくロードされません。

## 2. 6. mod\_ktrack の更新方法

### ① ktrack.conf の更新

0. 事前にテスト環境上で更新ファイルの動作確認を済ませておきます。

1. 本番環境の ktrack.conf を更新します。
2. 更新後、Apache の graceful 再起動を行い、新しい ktrack.conf の内容をロードさせます。

### ② mod\_ktrack.so の更新

0. 事前にテスト環境上へ更新版のモジュールをインストールし、動作確認を済ませておきます。

1. 更新ファイル名が異なる場合は、事前に httpd.conf の LoadModules 行を変更しておきます。
2. mod\_ktrack ファイルを本番環境の modules 配下へ配置します。

**【注意】**

更新ファイル名が同じ場合は、ファイル更新前に、Apache を停止させてください。Apache 稼働中にファイルを更新すると、Segmentation Fault が発生し、Apache が停止する場合があります。

3. Apache を stop/ start コマンドにて再起動します。

## 2. 7. mod\_ktrack のアンインストール方法

mod\_ktrack の利用を停止するに当たっては以下の2パターンがあります。

- ③ mod\_ktrack の無効化
- ④ モジュールの完全なアンインストール

### 2. 7. 1. mod\_ktrack の無効化

インストール時に Apache のコンフィグレーションファイルに設定した値をコメントアウトした後に、Apache の再起動を行います。

コンフィグレーションファイル (通常は httpd.conf) の以下の行をコメントアウトします。

```
#LoadModule ktrack_module      libexec/mod_ktrack.so
:
#AddModule mod_ktrack.c  ←Apache1.3.x の場合で AddModule を設定している場合
:
# 1.3x 系および 2.0x 系の場合
#<IfModule mod_ktrack.c>
#   Include conf/ktrack.conf
#</IfModule>

# 2.2x 系の場合
#<IfModule ktrack_module>
#   Include conf/ktrack.conf
#</IfModule>
```

以下のコマンドを実行し、Apache を再起動します。

```
# <Apache のインストールディレクトリ>/bin/apachectl graceful
```

再度、mod\_ktrack を有効にするには、コメントアウトした部分を有効し、Apache を再起動します。

## 2. 7. 2. mod\_ktrack の完全なアンインストール

以下の手順でアンインストールを行います。

- ① Apache のコンフィグレーションファイルの編集  
mod\_ktrack の無効化でコメントアウトの対象になっている行を削除します。
- ② ktrack.conf ファイルの削除
- ③ mod\_ktrack.so ファイルの削除
- ④ Apache の再起動( stop/start コマンドを実行します。.)

### 3. mod\_ktrack の設定

mod\_ktrack の各種ディレクティブ設定と設定例を説明します。各種設定を行うことで、細かな計測情報を取得することが可能となります。

#### 3. 1. mod\_ktrack のディレクティブ一覧

mod\_ktrack専用のディレクティブ情報を、ktrack.conf<sup>3</sup>というファイル名で、

```
<Apache のインストールディレクトリ>/conf
```

に作成します。

但し、rpm などのパッケージでインストールされている場合は、上記のディレクトリではなく、パッケージで定められたディレクトリになります。

ktrack.conf 内に記載するパラメタを以下に記します。

No	ディレクティブ名	説明	必須	パラメタ
1	KtrackSiteID	ネームスペースの値を設定。		
2	KtrackImageURL	ASP サーバの URL 【カンパニー】【D/C】【RSID】【Name Space】 【Currency】は固定で設定。	○	1つ
3	KtrackLicense	ライセンスコード設定パラメタ。	○	1つ
4	KtrackUnique	URL のユニークを判別するパラメタ。		複数可
5	KtrackCampaign	キャンペーン変数指定。		1つ
6	KtrackURLMatchValue	URL 正規表現マッチ用の設定。		複数可
7	KtrackSendParams	任意に ASP サーバに送信したいパラメタを指定。		複数可
8	KtrackCarrierUA	キャリアの user_agent 識別パラメタ。		複数可
9	KtrackMobileCrawlerUA	携帯サイト向けのサーチエンジンのクローラを判別するための User-Agent の正規表現文字列。		複数可
10	KtrackMobileOnly	計測対象を携帯サイトのみにする場合に指定。	○	1つ
11	KtrackSSLPort	SSL ポートを設定するパラメタ。		1つ
12	KtrackSSLHeader	SSL アクセラレータを利用している場合に、SSL 通信時にアクセラレータが HTTP リクエストヘッダに指定するヘッダ情報を指定。		1 or 2

<sup>3</sup> 1 台のサーバ上で VirtualHost を利用し、複数サイトを計測対象にする場合は、複数の設定ファイルが必要になります。この場合は設定ファイル名をそれぞれのサイトに応じた名称に変更する必要があります。詳しくは「2. 4. バーチャルホスト時の設定方法」を参照下さい。

13	KtrackErasePathinfo	PATH_INFO を利用されている場合に設定するパラメタ。		なし
14	KtrackPathinfoStayPos			1つ
15	KtrackPathinfoStayRPos			1つ
16	KtrackLimitCache	端末キャッシュサイズのパラメタ。		1つ
17	KtrackUncheckedURL	解析パラメタを付けない URL の設定。		1つ
18	KtrackRDTrackingURL	リダイレクトページの計測用パラメタ。		複数可
19	KtrackSendInternal	生成されたタグの URL バイト数が設定値を超えた場合、ソケット通信でタグを送信する設定。		バイト数 例) 512
20	KtrackEraseReferer	サイト内リファラ情報を計測しない場合に設定。※この設定に関わらず、サイト外からのリファラ情報は計測されます。		なし
21	KtrackUnusedLinkNo	必ず設定が必要。	○	なし
22	KtrackInternalDomain	自ドメインからの遷移の際に r パラメタを付けないための設定。		ドメイン名
23	KtrackLogServerAddress	ソケット通信時に Proxy サーバを経由させてログ集計サーバにアクセスする場合に指定。		1つ
24	KtrackKeepParams	指定されたパラメタをリンク・フォームで引き回す場合に指定。		複数可
25	KtrackAnalyzeEnableParams	指定されたパラメタが URL 内に存在する場合のみ mod_ktrack の処理対象とする設定。		複数可
26	KtrackReplaceSID	サイトアプリケーションで発行しているセッション ID を c2 として利用する場合に指定。		1つ
27	KtrackGetTitleTag	タイトルタグのデータをログ収集サーバに送信する場合に指定。		1つ
28	KtrackSendInternalURL	指定した URL の場合にソケット通信を行う場合に指定。		複数可
29	KtrackSendInternalTimeout	ログ収集サーバにビーコンをリクエスト後、レスポンスを受けるまでの間の Timeout の設定を行う場合に指定。		1つ
30	KtrackURLBeforeRewrite	mod_rewrite で変換される前の URL を取り出して利用する場合に指定。		なし
31	KtrackSessionId	セッション管理用パラメタ c2 の変数名を変更したい場合に使用。	○	1つ
32	KtrackUncheckedExternalDomain	計測対象ページ上のリンクが、外部サイトの URL の場合に、c2 パラメタを付与したく	○	1つ

		ない時に使用。		
33	KtrackGURLMatchValue	g パラメタに指定された値を URL 正規表現マッチ用とする設定。		複数可
34	KtrackMeasureContentType	処理対象 URL と Content-Type が設定内容とマッチした場合にソケット通信で計測を行う設定。		複数可
35	KtrackEnableTimeoutLog	ソケット通信時に Timeout が発生した場合エラーログに出力する設定。		1つ
36	KtrackDisableIpAddress	特定 IP アドレスからのアクセス時に計測対象外とする設定。		複数可
37	KtrackSetHashFunction	c2 変数の値を生成する際に使用するハッシュ関数を指定する設定。		1つ
38	SetInputFilter	Apache2 以上で必須。	○	KTRACK
39	SetOutputFilter	Apache2 以上で必須。	○	KTRACK

### 3. 2. mod\_ktrack のディレクティブ設定

mod\_ktrack の各種ディレクティブの設定方法と設定例を説明します。

#### 1. KtrackSiteID

サイトを識別するための ID です。初期設定のままお使い下さい。

mod\_ktrack は KtrackSiteID に指定した値を【ネームスペース】に代入して ASP サーバに通知します。

```
KtrackSiteID <ネームスペースに設定する値>
```

#### 2. KtrackImageURL

ログ収集用に、mod\_ktrack が自動的にコンテンツに付加する img タグの URL です。

```
KtrackImageURL <通知先 URL>
```

計測用 URL 等、サイトカタリストの計測に必要なデフォルトの内容を設定します。

※アドビ側で以下の変数を設定しますので、既に設定された値を変更しないで下さい。

サイトカタリスト変数名	PC 用の変数名	備考
ネームスペース	ns	KtrackSiteID の値が設定されます。
D/C	DC	112 or 122 (デフォルト 112)
RSID	rsid	計測先のレポートスイート ID

charSet	ce	デフォルトで SHIFT_JIS を設定
Currency	cc	JPY(デフォルトで固定)

上記変数が、KtrackImageUrl 内に以下の様に定義されています。

```
http://【ネームスペース】.【DC】.2o7.net/b/ss/【rsid】/1/?[AQB]&ndh=1
&ce=SHIFT_JIS&cc= JPY
# ↑ 実際は改行なしです。
```

- **CAUTION** この値を変更すると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意ください。

### 3. KtrackLicense

mod\_ktrack のライセンスキーです。

```
KtrackLicense <ライセンスキー>
```

トライアル時には仮ライセンスキーが発行されます。

この仮ライセンスは原則1ヶ月利用することができます。

また、有効期限が切れますと、タグが生成されなくなります。

(元のページには、今まで通りアクセスできます。)

本契約時には本ライセンスキーが発行されますので、そちらを設定して下さい。

- **CAUTION** この値を変更すると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意ください。

### 4. KtrackUnique

ASP サーバで収集する URL のユニークを判定するための GET/POST パラメタを指定します。

```
KtrackUnique <パラメタ名> # 空白区切りで複数設定可能
```

同じプログラムファイルでパラメタにより画面を制御している場合に、そのパラメタを KtrackUnique に設定すると、mod\_ktrack が自動的にサイトカタリストの URL 計測用変数 g パラメタ上の URL にパラメタを追加します。**※パラメタの追加順は、KtrackUnique の設定順となります。**

パラメタは、GET リクエストの場合は **QUERY STRING** に指定された値、POST リクエストの場合は **POST データ**で指定された値を参照して取得しております。POST リクエスト時は QUERY STRING に指定された値は参照しない事をご注意ください。

【他のディレクティブとの関連について】

本ディレクティブにより追加されたパラメタは、g パラメタを参照する KtrackGURLMatchValue にて、一致対象の条件に使用する事ができます。

※KtrackURLMatchValue、KtrackSendParams の動作には影響を与えません。

KtrackURLBeforeRewrite により、g パラメタ上の URL が変更された場合は、変更された後の URL に本ディレクティブによるパラメタが追加されます。



## 【2009/4月版からの追加機能】

引数の文字列に、前方一致の指定を可能としました。例えば「ab\*」と指定した場合は、ab で始まる全てのパラメータが URL の一部として計測されます。

※この際、複数のパラメータが一致した場合は、元の URL 上と同じ順番となります。

## 【注意】

この機能を使用した場合でも、弊社集計サーバ側では前方一致でない全てのパラメータの種類を登録する必要がある為、必ず弊社までご連絡願います。

設定例)

```
KtrackUnique pid para id #ktrack.conf に設定
```

パラメータによって出力する画面を変更している場合、KtrackUnique に対象のパラメータ名を設定します。

このように設定することで、mod\_ktrack はパラメータを含んだ URL を別の URL とみなし ASP サーバに送信するように img タグを貼り付けします。

上記 KtrackUnique 設定を行うと、以下の URL は別 URL として認識されます。

```
http://www.hoge.jp/index.php?pid=001
http://www.hoge.jp/index.php?pid=002
http://www.hoge.jp/index.php?para=111&id=333
http://www.hoge.jp/index.php?para=222&id=333
http://www.hoge.jp/index.php?para=111&id=444
http://www.hoge.jp/index.php?para=222&id=444
```

## 【注意】

※1 この設定はモジュール側と同期して、集計側でも同じ設定をする必要がある為、KtrackUnique の設定を行った場合は、必ず弊社サポート([supportjp@omniture.com](mailto:supportjp@omniture.com))まで設定内容をご連絡ください。

弊社にて集計側の設定作業を実施致します。

※2 有料検索検知を行う場合は、キャンペーン変数(トラッキングコード)を予め当ディレクティブへ設定しておく必要があります。(※それ以外の場合は、設定の必要はありません。)

弊社へ設定内容をご連絡いただく際は、お手数ですがキャンペーン変数用の変数がどれに当たるのかを併せてご連絡願います。

## 5. KtrackCampaign

キャンペーン変数で利用するパラメータを設定します。デフォルトは「cid」です。

```
KtrackCampaign <キャンペーン変数> # デフォルトは「cid」
```

デフォルトの設定では、キャンペーン変数は「cid」ですが、サイト側で「cid」というパラメータを既に利用している

場合、別のパラメタ名を設定設定することができます。また、設定できるパラメタ名は、仕様上1つだけです。

※2

# デフォルトの設定でキャンペーン変数を計測する場合の URL

`http://mydomain.co.jp/index.html?cid=xxxxxxxx`

設定例) キャンペーン変数「cid」を「abc」に変更したい場合は、設定ファイルに以下のように記述します。

```
# KtrackCampaign      cid
KtrackCampaign        abc
```

### 【注意】

※1 KtrackCampaign に設定した変数は、mod\_rewrite によるリダイレクトを除く、CGI での 302 リダイレクトを行った場合には、リダイレクト先の URL(Location ヘッダの URL) へモジュールが自動的に引き継ぎます。

※2 キャンペーン変数(cid=xxxx の”cid”部分)が複数存在する場合は、後述の KtrackURLMatchValue を用いて複数設定する事が可能ですが、KtrackURLMatchValue には 302 リダイレクト時のパラメタ自動引き継ぎ機能はありませんので、ご注意ください。

複数設定例)

```
KtrackCampaign      abc
KtrackURLMatchValue def=([^&]+) v0 $1
KtrackURLMatchValue xyz=([^&]+) v0 $1
```

上記の例は、キャンペーン変数 abc,def.xyz を計測する場合の設定です。仮に URL 中に複数同時に存在した場合、URL 中の順番に関わらず、上記設定の下に記述されたパラメタが優先で計測されます。

補足:

「def=([^&]+) v0 \$1」の記述の意味は、def=の後に続く&を含まない任意の文字列を、v0(トラッキングコード)変数へ設定する 事を設定しています。

## 6. KtrackURLMatchValue

URL 正規表現マッチ用の設定を行うことができます。この設定を行うことでサイトカタリスト用のトラフィック変数やコマース変数にデータを計測する事ができます。

```
KtrackURLMatchValue <URL 正規表現> <サイトカタリスト変数名> <設定値>
```

※各項目間は、半角スペースで区切ります。

KtrackURLMatchValue を利用できるサイトカタリストの変数は、p6、p7 記載一覧の設定変数(デフォルト)以外の変数となります。

### 【注意】

※1 KtrackBeforeRewrite の設定に関わらず、マッチ対象になる URL は、サイトカタリストに変数 g で通知さ

れる URL ではなく携帯が実際にリクエストした URL になります。

※2 トラフィック変数1(c1)及び4(c4)は、VistaRule 側にて予約された変数の為、ご利用できません。

それぞれ、トラフィック変数1には携帯の UserAgent 情報、トラフィック変数4(c4)には、UserAgent から抽出された機種名情報が格納されます。

※3 同じサイトカタリスト変数に対して複数の値が設定された場合は、最後の設定値が計測されます。

(計測タグには c1=abc&c1=def 等の様に冗長なデータが設定される為、なるべく重複しない様に設定してください。)

※4 ディレクティブ間で変数設定の重複があった場合は、専用タグ(SiteCatalystMobile\_Measurement) >

KtrackURLMatchValue > KtrackSendParams の 優先順位となります。 ※専用タグが最優先ですが、

※3 と同様冗長なデータが設定される為、なるべく重複しない様に設定してください。

設定例)

```
# ページ名指定用の URL マッチング
KtrackURLMatchValue event¥.hoge¥.jp¥/girls pageName event:girl
KtrackURLMatchValue review¥.hoge¥.jp¥/ pageName review

# チャネル指定用の URL マッチング
KtrackURLMatchValue (event¥.hoge¥.jp¥/|review¥.hoge¥.jp) ch event_review

# トラフィック変数用の URL マッチング
KtrackURLMatchValue hoge¥.jp¥/device¥.html c1 0
```

#### 【ダイナミック変数について】

他にも、携帯からの http リクエストヘッダーの内容や、既にビーコンイメージ(<img src="">)内に設定されているサイトカタリスト変数を別の変数でも計測する為に、“ダイナミック変数”を用いる方法があります。

ダイナミック変数を使用して、計測タグ内のパラメタ及び計測サーバへの http ヘッダ内の情報を計測する事ができます。

書式)

```
KtrackURLMatchValue <URL 正規表現> <サイトカタリスト変数名> <"D=http ヘッダ名 or 計測中のサイトカタリスト変数名">
```

※D=部分がダイナミック変数となります。

設定例)

```
# 全てのページで 拡張ヘッダ x-abc の内容を prop5 レポートへ計測する場合
KtrackURLMatchValue http c5 "D=x-abc"

# 全てのページで URL を prop6 でも計測する場合
```

```
KtrackURLMatchValue http c6 "D=g"
```

- **CAUTION1** <URL 正規表現>で"http"と設定した場合は、相対パスも含めて全ページが計測対象になります。
- **CAUTION2** ダイナミック変数で静的文字列を使用する場合は、必ずダブルクォート「"」で括る必要があります。

**【第3引数を利用した置換方法】**

20100202 版のモジュールより、第3引数に静的文字列と\$1,\$2…等で参照した文字列との組み合わせが指定可能になりました。

設定例)

```
KtrackURLMatchValue a=(^[&]+).+&b=(^[&]) p1 $1and$2
```

KtrackURLMatchValue を上記のように設定した状態で、「http://hoge.jp/index.php?a=TEST&v=0&b=OK」がリクエストされた場合、「p1=TESTandOK」がパラメタとして通知されます。

**【注意】**

1. 半角スペースを含んだ静的文字列と参照文字(\$n)を組み合わせる場合は、必ず第3引数全体をダブルクォートで囲んでください。

例) KtrackURLMatchValue a=(^[&]+).+&b=(^[&]) p1 "abc and\$2"

**7. KtrackSendParams**

この設定を行うことで、ページ内に設定されている GET/POST パラメタをサイトカタリスト向けの変数として利用することができます。

```
KtrackSendParams <変数名> <変数名>=<サイトカタリスト変数名> # 空白区切りで複数設定可能
```

GET/POST パラメタ名とは別のパラメタ名で集計サーバに通知したい場合は、“=”を使って通知したいパラメタ名を指定する事が可能です。

**【注意】**

=を使用しないパラメタは、=を使用するパラメタより必ず前に記述してください。後に記述した場合は、正常に計測できない不具合が見つっています。(20100329 追記)

パラメタは、GET リクエストの場合は QUERY STRING に指定された値、POST リクエストの場合は POST データで指定された値を参照して取得しております。POST リクエスト時は QUERY STRING に指定された値は参照しない事ご注意ください。

設定例)

```
KtrackSendParams mysiteid=c1
```

上記設定の場合、mod\_ktrack が「mysiteid」パラメタを取得できた場合に「c1」パラメタとしてサイトカタリストデータ計測サーバに通知します。

**【注意】**

1. 現在、このディレクティブは複数行での設定に対応していません。複数の項目を設定したい場合でも 1 行に纏めて記述してください。

2. KtrackSendParams は、mod\_ktrack が処理する時点(mod\_rewrite 等動作後)の get/post パラメタを参照する為、RewriteRule により get パラメタを書き換えている場合は、RewriteRule による書き換え後の get パ

ラメータを参照します。但し、KtrackBeforeRewrite ディレクティブが有効な条件下では、RewriteRule による書き換え前の get パラメータを参照します。

3. ディレクティブ間で変数設定の重複があった場合は、専用タグ(SiteCatalystMobile\_Measurement) > KtrackURLMatchValue > KtrackSendParams の優先順位となります。※専用タグが最優先ですが、冗長なデータが設定される為、なるべく重複しない様に設定してください。

## 8. KtrackCarrierUA <num> <UA の正規表現>

各キャリアの USER\_AGENT の設定項目です。

KtrackCarrierUA <num> <UA の正規表現>

- CAUTION この値を変更すると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意ください。
- CAUTION UID 取得ロジックが<num>毎に異なる為、KtrackCarrierUA を追加するだけでは、新キャリアの計測を行う事はできません。
- willcom 及び e-mobile の端末は PC サイトのページにリダイレクトされる事が多い為、本モジュールでは計測の対象外としています。

## 9. KtrackMobileCrawlerUA

携帯サイト向けのサーチエンジンのクローラーを判別するための User-Agent の正規表現文字列です。

KtrackMobileCrawlerUA <モバイル検索エンジンクローラーUA の正規表現>

設定例) 2010/4/9 更新

```
KtrackMobileCrawlerUA Googlebot
KtrackMobileCrawlerUA Mediapartners-Google
KtrackMobileCrawlerUA (msnbot|MSNBOT)
KtrackMobileCrawlerUA ^DoCoMo.+i-robot
KtrackMobileCrawlerUA LD_mobile_bot
KtrackMobileCrawlerUA "CA¥¥.MOBILE crawler"
KtrackMobileCrawlerUA moba-crawler
KtrackMobileCrawlerUA "Yahoo![ ¥t]+[A-Za-z]*[ ¥t]*Slurp"
KtrackMobileCrawlerUA Y!J-AGENT
KtrackMobileCrawlerUA Y!J-[A-Z]{3}
KtrackMobileCrawlerUA RFCrawler-Mobile
KtrackMobileCrawlerUA "mobile goo"
KtrackMobileCrawlerUA symphonybot1¥.froute¥.jp
KtrackMobileCrawlerUA croozbot
KtrackMobileCrawlerUA MooterKK
KtrackMobileCrawlerUA Baidu(Mobaider|spider)
```

このパラメータ値を変更することで、対象の UA からのアクセスに対して、mod\_ktrack モジュールは計測を行い

ません。

## 10. KtrackMobileOnly

デフォルト設定のままご利用下さい。

```
KtrackMobileOnly
```

- **CAUTION** この設定を無効にすると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意ください。

## 11. KtrackSSLPort

SSL アクセラレータを利用している場合に、SSL アクセラレータと Web サーバ間での通信ポートを設定する項目です。これにより mod\_ktrack モジュールに SSL アクセスである事を通知します。

```
KtrackSSLPort <num>
```

ここで設定されたポートでの通信の場合、mod\_ktrack は SSL 通信時の処理を行います。

- **CAUTION** この値が正しく設定されていない場合、https の画面に http の計測タグが設定され、携帯端末側で表示エラーとなりますので、ご注意ください。

設定例)

```
KtrackSSLPort 81 #SSL アクセラレータと Web サーバ間の通信ポート
```

ここで設定されたポートでの通信の場合、mod\_ktrack は SSL 通信時の処理を行います。

- **CAUTION** KtrackSSLPort を指定する場合は、httpd.conf で指定されている UseCanonicalName の値が On になっている必要があります。

## 12. KtrackSSLHeader

SSL アクセラレータを利用している場合に、mod\_ktrack モジュールに SSL アクセスである事を通知する HTTP リクエストヘッダを指定します。

```
KtrackSSLHeader <ヘッダー情報>
```

設定例)

```
# 設定例1) SSL アクセラレータが SSL 通信時に"X-ssl-request"というヘッダに値なしで設定している場合
```

```
KtrackSSLHeader X-ssl-request
```

```
# 設定例2) SSL アクセラレータが SSL 通信時に"X-ssl-request : true"というヘッダを設定している場合
```

```
KtrackSSLHeader X-ssl-request true
```

- **CAUTION** "X-ssl-request" は一例です。この値はお使いの SSL アクセラレータに合わせて設定して下さい。
- **CAUTION** この値が正しく設定されていない場合、https の画面に http の計測タグが設定され、携帯端末側で表示エラーとなりますので、ご注意ください。

## 13. KtrackErasePathinfo

PATH\_INFO をご利用の場合に必要な設定項目です。

```
KtrackErasePathinfo #パラメタなし
```

設定例)

例えば以下の URL で「aaa.cgi」以降を「aaa.cgi」のパラメタとして利用している場合：

例)http://www.abc.co.jp/aaa.cgi/azxd990a2/input

mod\_ktrack では、“http://www.abc.co.jp/aaa.cgi/azxd990a2/input”というページがリクエストされたと認識し、ページ URL として管理します。よって、パラメタ(上記 URL の場合「azxd990a2/input」)がユーザの識別 ID の場合や、商品の ID の場合、管理するページ URL が多くなってしまい、正確な計測を行うことができなくなります。

「aaa.cgi」以降はパラメタと認識しページ URL として扱わないという設定をしたい場合は、以下のディレクティブを設定します。

```
KtrackErasePathinfo #PATH_INFO を削除する設定。
```

このディレクティブを設定すると、mod\_ktrack は「aaa.cgi」以降を削除した URL “http://www.abc.co.jp/aaa.cgi”をリクエストされた URL として認識し、ページ URL として管理します。

- **CAUTION** jsessionid に関しては、デフォルトで削除された URL が計測されます。

#### 14. KtrackPathinfoStayPos

PATH\_INFO の前から<num>番目のデータを URL に付加します。

```
KtrackPathinfoStayPos <num>
```

#### 15. KtrackPathinfoStayRPos

PATH\_INFO の後ろから num 番目のデータを URL に付加します。

```
KtrackPathinfoStayRPos <num>
```

#### NOTE

##### KtrackPathinfoStayPos/ KtrackPathinfoStayRPos について

PATH\_INFO として設定された値のうち、一部がページのユニークを判断する場合は、以下のディレクティブを設定する事で PATH\_INFO の一部を URL に付加する事が可能です。

“http://www.abc.co.jp/aaa.cgi/azxd990a2/input”の URL を例にした場合、各ディレクティブを設定すると以下のようになります。

- 上記例の URL で前から1番目を残したい場合

```
KtrackErasePathinfo #PATH_INFO を削除する
```

```
KtrackPathinfoStayPos 1 #但しここで設定された位置のパラメタは残す
```

計測される URL は“http://www.abc.co.jp/aaa.cgi/azxd990a2”になります。

- 上記例の URL で後ろから1番目を残したい場合



```
KtrackErasePathinfo      #PATH_INFO を削除する
KtrackPathinfoStayRPos  1  #但しここで設定された位置のパラメタは残す
```

計測される URL は“http://www.abc.co.jp/aaa.cgi/input”になります。

## 16. KtrackLimitCache

携帯端末のキャッシュサイズを判別して、計測用タグの貼付処理を制御する設定項目です。

```
KtrackLimitCache <num>
```

キャッシュ容量が少ない携帯端末からのアクセスの場合、mod\_ktrack コンテンツに付加するデータサイズ次第では、キャッシュ容量を超えてしまい、コンテンツを表示できなくなる可能性があります。

この現象を回避するため、ktrack.conf にこの設定を行うことで、指定キャッシュ容量以下の携帯端末の場合に mod\_ktrack の解析対象外にすることが可能です。

設定単位は Kbyte です。

設定例)

```
KtrackLimitCache 6 #6K 以下のキャッシュサイズの端末には処理しない。
```

この設定を行うことで、キャッシュサイズが 6K 以下の端末には解析用のタグ貼付処理を行わなくなります。

## 17. KtrackUncheckedURL

特定の URL を含むリンクやフォームに解析パラメタを付加しないという設定を行う場合の設定項目です。

```
KtrackUncheckedURL <URL>
```

※引数の<URL>には、ワイルドカードを示す“\*”および“?”を使用できますが、正規表現は使用できません。また、ワイルドカード自身のエスケープが API の仕様上できないため、クエリパラメタの“?”を一致条件に含めることができません。このため例えば、\*?abc=\* と記述した場合は abc の手前が?の場合とそうでない場合の両方に一致します。

例えば「hoge.html」のようなコンテンツに対して、着メロファイル(dooo.mld)や特定の URL に、解析パラメタを省く場合：

hoge.html

```
<a href="dooo.mld">着メロA</a><br>
:
<hr>
この商品を購入<br>
<form ation="https://buy.xxxx.co.jp/auth_check.cgi">
カード番号:<input type="text" name="_xxx_no" size=20><br>
<input type="submit" value="購入">
```

```

</form>
:
<hr>
<a href="/index.html?c2=xxxxxxxxxxxxxx &r=xxxxxxxxxxxxxx">戻る</a>
    
```

KtrackUncheckedURL 設定項目に以下のように設定します。

```

KtrackUncheckedURL *.mld
KtrackUncheckedURL https://buy.xxxx.co.jp/auth_check.cgi
    
```

この設定を行うことで、「.mld」拡張子が付いたリンクやフォーム、および https://buy.xxxx.co.jp/auth\_check.cgi に対して mod\_ktrack はパラメタ付加処理を行いません。

- **CAUTION** KtrackUnchekeedURL は複数設定可能ですが、複数設定する場合は必ず複数行設定して下さい。

```

KtrackUncheckedURL *.mld
KtrackUncheckedURL *.3gp
KtrackUncheckedURL */shopping/*
    
```

前後に"\*"を付加する事で、パターンマッチを行うことが可能です。

- **CAUTION** KtrackInternalDomain に設定した自ドメイン以外のリンクへ c2 を付与したくない場合は、KtrackUncheckedExternalDomain を使用して全ての外部ドメインのリンクへ c2 パラメータを付与しない様にする事が可能です。

### 18. KtrackRDTrackingURL

リダイレクトページの計測を行う場合の設定項目です。

```

KtrackRDTrackingURL <URL>
    
```

※引数の<URL>には、ワイルドカードを示す"\*"および"?"を使用できますが、正規表現は使用できません。また、ワイルドカード自身のエスケープがAPIの仕様上できないため、クエリパラメタの"?"を一致条件に含めることができません。このため例えば、\*?abc=\* と記述した場合は abc の手前が?の場合とそうでない場合の両方に一致します。

通常タグ貼付型の解析は、HTML 内に計測タグを貼り付けてビーコンを取得し解析する形式を取っていますが、リダイレクトページの場合、タグの貼付ができないため、リダイレクトページに対する計測ができません。しかし mod\_ktrack は、この設定項目にリダイレクト先の URL を設定することで、リダイレクトするページをソケット通信にて計測を行うことができます。

- **CAUTION** 本ディレクティブは mod\_rewrite でのリダイレクトには、対応していません。  
PHP 等、アプリケーション側での 302 リダイレクトの場合に計測する事が可能です。
- **CAUTION** KtrackRDTrackingURL で指定する値は、Location ヘッダに指定する URL になります。  
つまり、URL としては http://www.hoge.jp/rd.php?id=abc にリダイレクトするとしても、Location ヘッダに"/rd.php?id=abc"

と指定されている場合は、"/rd.php?id=abc"と指定して下さい。

例)

ドメイン	http://www.hoge.jp/
リダイレクトページ	http://www.hoge.jp/rd.php?id=<パラメタ値>
リダイレクト先	
id=0	http://www.hoge2.jp/inquiry/index.php
id=1	http://www.hoge3.jp/inquiry/index.php

rd.php はパラメタ id によって、リダイレクト先を変更しているとした場合、KtrackRDTracking 設定項目に以下のように設定します。

```
KtrackRDTrackingURL http://www.hoge2.jp/inquiry/index.php
```

```
KtrackRDTrackingURL https://www.hoge3.co.jp*
```

引数の前後に"\*"を付加することで、パターンマッチを行うことが可能です。

複数のリダイレクト先がある場合は、上記のように複数行記載して下さい。

#### NOTE

KtrackUnique に「id」を設定しておくことで、本モジュールでは下記 URL のアクセスログを解析対象にします。

```
http://www.cellant.jp/rd.php?id=0
```

```
http://www.cellant.jp/rd.php?id=1
```

## 19. KtrackSendInternal

生成された通知用<img>タグの URL バイト数が設定値を超えた場合、ソケット通信でタグを送信するための設定項目です。

```
KtrackSendInternal <num>
```

端末によっては、<img>タグの URL バイト数が大きい場合、エラーとなるケースがあります。この設定を行うことで、mod\_ktrack で生成する<img>タグの URL バイト数が設定値より大きい場合は、mod\_ktrack が<img>タグの出力を停止し、自動的にソケット通信を行います。

設定例)

```
KtrackSendInternal 512 #Byte
```

設定値は Byte 数表記にして下さい。

上記設定例の場合、通知用<img>タグの URL バイト数が 512 より大きいと<img>タグの生成は行わずに自動的にソケット通信を行います。

## 20. KtrackEraseReferer

サイト内リファラ情報を計測しない場合の設定項目です。

```
KtrackEraseReferer #引数なし
```

この設定に関わらず、mod\_ktrack がインストールされていないサイトからのリファラ情報は計測されます。

## 21. KtrackUnusedLinkNo

この設定は必須項目です。

```
KtrackUnusedLinkNo #パラメタなし
```

- **CAUTION** この設定を外すと、SiteCatalyst で利用しないパラメタ「ktr\_in」が a タグのリンク URL および form の hidden タグに追加されます。mobylog 側で使用する機能の為、**サイトカタリスでは Off にする必要があります。**

## 22. KtrackInternalDomain

自ドメインからの遷移の場合に、r パラメタをビーコンに付けないようにする設定項目です。

```
KtrackInternalDomain <ドメイン名>
```

この設定を行うことで、Referer ヘッダに指定されている情報が、KtrackInternal ドメインで指定されたドメインの場合に、ビーコンの URL に r パラメタを含まないようになります。これにより、サイトカタリストに通知される計測データのサイズを必要最小限に止めています。

設定例)

```
KtrackInternalDomain *.hoge.jp # ワイルドカード「*」が利用できます。
KtrackInternalDomain www.hoge2.jp # 複数行で指定する事ができます。
```

## 23. KtrackLogServerAddress

WEB サーバが直接外向けの80番ポートを開放しておらず、プロキシサーバ経由で計測データを送信する必要がある場合に、プロキシサーバ情報を設定します。

```
KtrackLogServerAddress <FQDN or IP-Address>:<PORT 番号>
```

- **CAUTION** ポート番号が省略されている場合は自動的に 80 番ポートが適用されます。

## 24. KtrackKeepParams

指定されたパラメタを mod\_ktrack モジュールによりリンクやフォームで引き継ぐ場合に設定します。

```
KtrackKeepParams <パラメタ名> #スペース区切りで複数設定可能
```

スペース区切りで複数パラメタを設定することができます。

- **CAUTION** mod\_ktrack モジュールを OFF にした場合に、サイトの運営に影響が発生するのを防ぐためサイトの制御に関わるパラメータは、設定しない様をお願いします。

設定例)

```
KtrackKeepParams u params flg
```

- **CAUTION** 一度パラメータの引き継ぎが開始されると、そのセッションでは全ての画面でパラメータの引き継ぎが行われます。
- **CAUTION** パラメータが引き継がれる URL は、KtrackUncheckedExternalDomain が指定されていた場合は、KtrackInternalDomain に指定されたドメイン内の URL のみとなります。

## 25. KtrackAnalyzeEnableParams

指定されたパラメータが URL 内に存在する場合のみ mod\_ktrack の処理対象とする設定項目です。

```
KtrackAnalyzeEnableParams </パラメータ名> #スペース区切りで複数設定可能
```

スペース区切りで複数パラメータを設定することができます。

設定例)

```
KtrackAnalyzeEnableParams u params flg
```

## 26. KtrackReplaceSID

サイトアプリケーション側で発行しているセッション ID を利用するための設定項目です。

```
KtrackReplaceSID </パラメータ名> # GET/POST パラメータ名
```

- **CAUTION** GET/POST 変数で指定されている場合のみ有効です。  
Java で良く使われている、jsessionid には対応していませんのでご注意ください。  
指定された GET/POST パラメータ名が指定されていない場合は、mod\_ktrack が独自にセッション ID を生成します。  
GET/POST パラメータに指定されている値をそのまま c2(セッション ID)として利用します。

### 【注意】

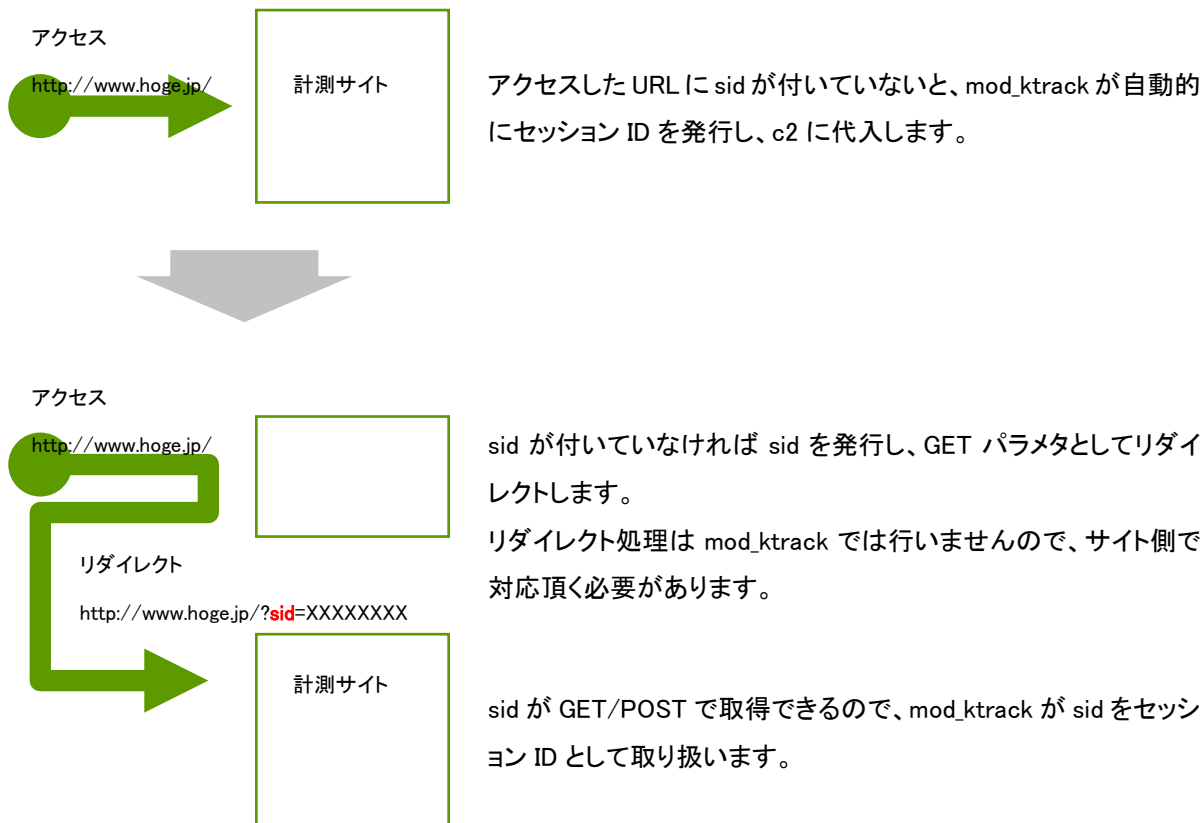
- ※1 ユニーク ID が取得できた場合はユニーク ID をセッション ID として利用します。
- ※2 KtrackReplaceSID で指定されたパラメータが存在しない場合はセッション ID を自動的に生成します。
- ※3 c2 パラメータは生成しません。

設定例)

```
KtrackReplaceSID sid #ここに設定したパラメータをセッション ID として扱う
```

このディレクティブに設定したパラメータをセッション ID として利用するには、計測対象サイトにランディングした時点から、サイトアプリケーション側で発行しているセッション ID が付加されている必要があります。

よって、このディレクティブに設定したパラメタが付いていない場合は、このディレクティブに設定したパラメタを付けた状態でリダイレクトをする必要があります。



## 27. KtrackGetTitleTag

タイトルタグの情報をサイトカタリスト変数 `pageName(gn)` に設定して計測する為の設定です。

```
KtrackGetTitleTag
```

タイトルタグの情報を `pageName` に設定しない場合はコメントアウトして下さい。

ページ名設定の優先順位は以下の通りです。

KtrackGetTitleTag、専用タグ内の `pageName(gn)` の中では、Html 上でより下部に記載された方 > KtrackURLMatchValue による `pageName(gn)` 設定

となります。左の方が優先的に設定されます。

- **CAUTION** モジュール ver. 20100202 版より本ディレクティブが使用する変数を `pageName` から `gn` に変更しました。 ※動的変数にてこの値を参照するルールを記述している場合は、ご注意ください。

## 28. KtrackSendInternalURL

引数に指定された URL へのアクセスをした場合に、ビーコン用のイメージファイルを `img` タグで取り出すのではなく、直接、ソケット通信をして取り出す場合に指定します。

```
KtrackSendInternalURL <URL>
```

設定例)

```
KtrackSendInternalURL ^http://hoge%.jp/index%.html
```

```
KtrackSendInternalURL ^http://hoge%.jp/campaign/top%.html%?mad
```

- **CAUTION** 複数指定する場合は複数行設定します。正規表現を利用することが可能です。

## 29. KtrackSendInternalTimeout

ソケット通信時のタイムアウトを設定する場合に指定します。

```
KtrackSendInternalTimeout N.N
```

設定例)

```
KtrackSendInternalTimeout 3.5 # 3.5 秒でタイムアウト
```

- **CAUTION**
  - 1) ソケット通信にてビーコンをリクエストする際に有効になる設定です。
  - 2) タイムアウトは、宛先の計測サーバ接続確立から、応答受信完了までの間の http レスポンス待ち時間を対象としています。 ※あくまでも、上記待ち時間中に応答が完了しなかった場合に限り有効な待ち時間となります。
  - 3) タイムアウト値は N.N 秒で指定が可能です。
    - 10 秒以上の場合は 10 秒に設定します。
    - 小数点以下は第1位まで有効とし、少数点第2位以降は切り捨てします。
  - 4) 本ディレクティブが使用されていない場合、デフォルトで 5 秒が設定されます。

### 【注意】

- ※1 計測サーバへの ping 応答時間より短い時間を設定すると正常な接続であってもタイムアウトとなり、ソケット通信による計測が正しく行われな場合があります。
  - \* 最適な値はネットワークの状況に寄りますが、設定ファイル内には初期値として 1 秒を設定しています。
- ※2 万が一、ソケット通信の接続先である計測サーバからの応答がない場合は、携帯から WEB サーバへのアクセスにタイムアウト設定時間分の遅延が発生します。何も設定されない場合は、デフォルトで 5 秒の遅延が発生します。

## 30. KtrackURLBeforeRewrite

サイトカタリストの URL 計測用変数(g)を mod\_rewrite で変換される前の URL とする場合の設定項目です。

```
KtrackURLBeforeRewrite # 引数無し
```

- **CAUTION** mod\_rewrite の RewriteRule の指定方法によって動作が変わります
  - 1) mod\_rewrite にて URL の書き換えを行う場合のみに対応します。
  - 2) .htaccess にて指定している場合や[PT]オプションを使用した場合は、有効に機能しない可能性があります。  
(上記に該当される場合は、環境的な要素が大きく動作の保障ができない為、事前にテスト環境上での確認を行った上でご利用頂きます様、お願いいたします。)

設定例)

```
RewriteRule ^/([\^/]+)/$ /index.php?url=$1 [PT]
```

mod\_rewrite の設定で上記の設定がされている場合に、携帯端末から①がリクエストされた場合、通常 mod\_ktrack では②をサイトカタリストの URL 計測変数(g)へ設定しますが、KtrackURLBeforeRewrite を設定すると①を URL 計測変数(g)として扱うようになります。

- ① http://hoge.jp/top\_page/
- ② http://hoge.jp/index.php?url=top\_page

#### 【注意】

- ・別途 pageName(gn)が設定されている場合は、pageName がレポートへ表示されます。
- ・KtrackURLMatchValue の対象 URL は本ディレクティブの有無に関わらず、常に RewriteRule 変更前の URL となります。
- ・本ディレクティブが有効な場合に RewriteRule による書き換え前の URL または get パラメータを参照するディレクティブは、下記の通りです。
- ・ KtrackUnique 、 KtrackSendParams 、 KtrackKeepParams 、 KtrackCampaign 、 KtrackSendInternalURL 、 KtrackGURLMatchValue 、 KtrackErasePathinfo 、 KtrackPathinfoStayPos 、 KtrackPathinfoStayRPos 、 KtrackAnalyzeEnableParams、KtrackReplaceSID

## 31. KtrackSessionId

デフォルトのセッション ID c2 のパラメータ名を変更したい場合に使用します。

```
KtrackSessionId abc #セッション ID を abc とします。
```

- **CAUTION** この設定で指定したパラメータがサイト上で使用されていない、かつ今後も使用されない事を十分にご確認の上、設定してください。
- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2008 年 4 月版 (200804XX 以降)のモジュールにて、有効な設定となります
- **CAUTION** jsessionid に関しては、セッション ID として利用する事が出来ず、デフォルトではjsessionid が削除された URL が計測されます。

## 32. KtrackUncheckedExternalDomain

計測対象ページ上のリンクが、外部サイトの URL の場合に c2 パラメータを設定しない様にします。

```
KtrackUncheckedExternalDomain #引数はありません。
```

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2008 年 12 月 26 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。
- **CAUTION** 2008 年 12 月 26 日版以前のモジュールで本ディレクティブを使用した場合は、設定ファイルロードエラーとなります。



で、ご注意ください。

**【注意 1】**

外部/内部の判定には、**KtrackInternalDomain** の設定値を使用します。

### 33. KtrackGURLMatchValue

g パラメタに指定される値をマッチ対象とすることができます。

```
KtrackGURLMatchValue <URL 正規表現> <サイトカタリスト変数名> <設定値>
```

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。
- **CAUTION** 本ディレクティブは KtrackURLMatchValue の動作仕様を継承しています。

※各項目間は、半角スペースで区切ります。

KtrackUnique で指定された get/post パラメータが付加された URL が g パラメタの値となり、マッチ対象となる為、Post パラメータを KtrackGURLMatchValue のマッチ対象に含める事が可能です。

例)

携帯からの Post リクエスト内容が

POST /index.html

abc=12345

であった場合、

```
KtrackUnique abc
```

```
KtrackGURLMatchValue ¥/index¥.html¥?abc=12345 <サイトカタリスト変数名> <設定値>
```

とする事で Post パラメータをマッチ対象に使用する事ができます。

### 34. KtrackMeasureContentType

Content-Type と処理対象 URL を引数として指定する事で、Content-Type が完全一致し、且つ処理対象 URL が正規表現でマッチした場合にソケット通信で計測を行います。

```
KtrackMeasureContentType <ContentType> <リクエスト URL>
```

※各項目間は、半角スペースで区切ります。

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。

設定例)

gazou\_test.jpg(Content-Type image/jpeg)がリクエストされた場合に、計測の対象にする場合の設定は以下の通りです。

```
KtrackMeasureContentType image/jpeg gazou_test¥.jpg
```

※g パラメタには、リクエストされた URL が設定されます。

※計測はソケット通信にて行います。

**【注意 1】**

本機能はサイト内の画像や動画等の Html 以外のコンテンツのダウンロード計測にも利用できます。

**【注意 2】**

サイトカタリストのカスタムリンク、ダウンロードリンクレポートへ計測するには、以下の様に設定します。

例1) ダウンロードリンクレポートへ計測する場合( pe=lnk\_d pev2=<コンテンツの名称>)

```
KtrackMeasureContentType image/jpeg gazou_test¥.jpg
KtrackURLMatchValue /images/gazou_test¥.jpg pe lnk_d
KtrackURLMatchValue /images/gazou_test¥.jpg pev2 <コンテンツの名称>
```

例2) カスタムリンクレポートへ計測する場合( pe=lnk\_o pev2=<コンテンツの名称>)

```
KtrackMeasureContentType image/jpeg gazou_test¥.jpg
KtrackURLMatchValue /images/gazou_test¥.jpg pe lnk_o
KtrackURLMatchValue /images/gazou_test¥.jpg pev2 <コンテンツの名称>
```

※上記何れの場合も、/images/gazou\_test.jpg へアクセスがあった場合、ソケット通信時のビーコン内に g パラメータが生成されますが、各リンクレポートのみへカウントされ、**ページレポートにはカウントされません。**

### 35. KtrackEnableTimeoutLog

ソケット通信時に Timeout が発生した場合、apache のエラーログにエラーを出力します。

```
KtrackEnableTimeoutLog # 引数はありません。
```

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。

(出力例)

```
[Fri Jan 15 19:01:57 2010] [notice] [mod_ktrack] internal send : connect timeout(0.1)
```

※timeout()内の数値は、ktrack.conf 上の KtrackSendInternalTimeout に設定した値となります。

### 36. KtrackDisableIpAddress

引数に指定された IP アドレスからのアクセスの場合、計測対象としない設定です。

```
KtrackDisableIpAddress <IP アドレス>
```

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。
- **CAUTION** IP アドレスは IPVer4 の形式のみ対応しています。

設定例)

```
KtrackDisableIpAddress 192.168.0.*
KtrackDisableIpAddress 172.16.10.*
```

- **CAUTION** 複数指定する場合は複数行設定します。ワイルドカードとして「\*」を利用することが可能です。

### 37. KtrackSetHashFunction

c2 変数の生成のために使用しているハッシュ関数を指定します。

```
KtrackSetHashFunction <hash 関数>
```

- **CAUTION** 本設定は、モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な設定となります。

設定例)

```
KtrackSetHashFunction md5
```

c2 変数の生成のために使用するハッシュ関数に md5 を使用します。

**【注意】**

- ・現在、設定可能なハッシュ関数は md5 のみになります。
- ・引数に md5 以外の値を指定した場合は、今までと同じハッシュ値が生成されます。
- ・ハッシュ関数に md5 を指定した場合、c2 変数は 32byte の 16 進数文字で構成されます。
- ・ハッシュ関数が c2 生成に使用するデータについては、1. 3. 1を参照してください。

### 38. SetInputFilter

Apache2 以上で必須指定項目になります。

```
SetInputFilter KTRACK #引数は“KTRACK”固定にして下さい。
```

- **CAUTION** この値を変更すると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意下さい。
- **CAUTION** Apache1.3 系のモジュールではサポートしないディレクティブの為、使用しないでください。Apache 再起動時のエラーの原因となります。

### 39. SetOutPutFilter

Apache2 以上で必須指定項目になります。

```
SetOutPutFilter KTRACK #引数は“KTRACK”固定にして下さい。
```

- **CAUTION** この値を変更すると正確にアクセス解析ができなくなりますのでご注意下さい。
- **CAUTION** Apache1.3 系のモジュールではサポートしないディレクティブの為、使用しないでください。Apache 再起動時のエラーの原因となります。

## 3. 3. mod\_ktrack のディレクティブ設定サンプル

mod\_ktrack 設定ファイルの記述例です。ここに記載されている内容は一例ですので、サイトの構成に合った設定を行って下さい。

```
# mod_ktrack directives
<Location />
    SetInputFilter KTRACK # apache2 系のみ必須
```

```

SetOutputFilter KTRACK # apache2 系のみ必須
KtrackSiteID test
KtrackLicense xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
KtrackImageURL http://test.112.2o7.net/b/ss/testryuheirktnmb/1/H.5-pdv-2/
                ?[AQB]&ndh=1&ce=SHIFT_JIS&cc=JPY (本来は改行なし)
KtrackCarrierUA 1 ^DoCoMo
KtrackCarrierUA 2 ""((KDDI-)?[A-Z]+[A-Z0-9]+[ \t]+)?UP¥¥.Browser"
KtrackCarrierUA 3 ^(SoftBank|Vodafone|MOT-)
KtrackMobileCrawlerUA Googlebot
KtrackMobileCrawlerUA Mediapartners-Google
KtrackMobileCrawlerUA (msnbot|MSNBOT)
KtrackMobileCrawlerUA ^DoCoMo.+i-robot
KtrackMobileCrawlerUA LD_mobile_bot
KtrackMobileCrawlerUA "CA¥¥.MOBILE crawler"
KtrackMobileCrawlerUA moba-crawler
KtrackMobileCrawlerUA "Yahoo![ \t]+[A-Za-z]*[ \t]*Slurp"
KtrackMobileCrawlerUA Y!J-AGENT
KtrackMobileCrawlerUA Y!J-[A-Z]{3}
KtrackMobileCrawlerUA RFCrawler-Mobile
KtrackMobileCrawlerUA "mobile goo"
KtrackMobileCrawlerUA symphonybot1¥.froute¥.jp
KtrackMobileCrawlerUA croozbot
KtrackMobileCrawlerUA MooterKK
KtrackMobileCrawlerUA Baidu(Mobaider|spider)
KtrackMobileOnly # KtrackUnique
# mod_ktrack unchecked url-list
KtrackUncheckedURL *.mld
KtrackUncheckedURL *.mmf
KtrackUncheckedURL *.smd
KtrackUncheckedURL *.mid
KtrackUncheckedURL *.pmd
KtrackUncheckedURL *.qcp
KtrackUncheckedURL *.amc
KtrackUncheckedURL *.3g2
KtrackUncheckedURL *.asf
KtrackUncheckedURL *.3gp
KtrackUncheckedURL *.amc
KtrackSendInternal 512
KtrackSendInternalURL ^https
KtrackSendInternalTimeout 1
# KtrackGetTitleTag
KtrackCampaign cid
KtrackURLMatchValue ^http[s]?://[^\s]+/[^\s]+/ ch $1
KtrackURLMatchValue ¥.(html|htm)$ c1 s
KtrackURLMatchValue ¥.php$ c1 d
KtrackSendParams price dtl
</Location>
<Location /app/admin>

```

```
KtrackSiteID 999999
KtrackLicense disable-ktrack
</Location>
```

### 3. 4. 専用のコメントタグにより計測する方法

mod\_ktrack は、HTML 内に専用のコメントタグで記述された情報を抽出して計測タグに含める事ができます。

処理対象	コメントタグ (“<!--”から“-->”の間)の中の開始・終了タグの間に記述されたデータ
開始タグ	For_SiteCatalyst_Mobile_Measurement
終了タグ	For_SiteCatalyst_Mobile_Measurement (開始タグと同一)

- **CAUTION** モジュールのバージョンが 2010 年 2 月 2 日版以降のモジュールにて、有効な方法となります。
- **CAUTION** 終了タグが指定されていない場合は、コメントタグの終わり「-->」までを処理対象とします。

記述フォーマット	<パラメタ名> = <データ>
----------	-----------------

- **CAUTION**
  - ① パラメタ名に使用できるのは、**サイトカタリストのデバッグで表示される変数名のみ**です。
  - ② パラメタ名の前および、「=」の前後にある、空白・タブ・改行文字は無視されます。
  - ③ 各行の設定値の終了は、空白・タブ・改行で判断します。
  - ④ データに空白がある場合は、前後を「」(ダブルクォーテーション)で必ず括ってください。括らない場合、半角スペースまでの値が計測されます。
  - ⑤ データに 2 バイト文字を設定できます。指定する際は URL エンコードの必要はありませんが、文字コードは Shift-JIS で指定してください。
  - ⑥ 設定ファイルと同じ変数を指定した場合は、専用タグ側の値が優先されます。(専用タグによる値が設定ファイルの後に追加され、計測サーバ側では後者の値が優先される為)
  - ⑦ Html タグ内であれば、記述場所の制限はありません。専用タグを 1Html 内に複数個記述した場合でも全て計測されます。ただし、同じ変数が重複設定されない様、ご注意ください。※専用タグ内で同じ変数が設定された場合も後者の値が計測されます。
  - ⑧ データを「」(ダブルクォーテーション)で括った場合にデータ中に「」が存在する場合は、「¥」でエスケープしてください。
  - ⑨ ソケット通信モードの場合でも、専用タグの内容は計測されます。
  - ⑩ ディレクティブ間で変数設定の重複があった場合は、専用タグ (SiteCatalystMobile\_Measurement) > KtrackURLMatchValue > KtrackSendParams の優先順位となります。 ※専用タグが最優先ですが、冗長なデータが設定される為、なるべく重複しない様に設定してください。

#### 出力例)

```
<!--
For_SiteCatalyst_Mobile_Measurement
```

```
pl=";magazine;2;1200"  
ev="purchase"  
gn="thanks_page"  
v5="category"  
For_SiteCatalyst_Mobile_Measurement  
-->
```

通知するパラメータ数に上限はありません。

## 4. mod\_ktrack の運用

ここでは、mod\_ktrack の定常運用について説明します。

mod\_ktrack は正しく設定が行われて稼働している場合には基本的にエラーメッセージを出力することはありませんが、運用にあたっていくつかのメッセージ出力を監視する必要があります。以下に、監視対象のログファイル・メッセージ内容・原因と事象・対応方法を記述します。

### ・apache 起動時に出力されるメッセージ

監視対象ログファイル	apache エラーログ
メッセージ内容	[notice] [mod_ktrack] can't get IP-Address
原因と事象	apache 起動時に行う計測サーバ URL の DNS 名前解決に失敗したことが原因です。このメッセージが出力された場合は、 ～Ver20090417: apache 起動不可 Ver20100202: mod_ktrack 無効状態で apache が起動となります。
対応方法	apache を再起動してください。複数回再起動をしても上記のメッセージが出力され続ける場合はネットワークや DNS サーバに問題がある可能性が高いため、社内のネットワーク担当者か ISP の窓口へお問い合わせください。

### ・定常稼働中に出力されるメッセージ

監視対象ログファイル	apache エラーログ
メッセージ内容	[notice] [mod_ktrack] internal send : connect error [notice] [mod_ktrack] internal send : receive error
原因と事象	ktrack.confにKtrackEnableTimeOutLogディレクティブが定義されている状態でソケット通信に失敗したことが原因です。本メッセージが出力された後も apache および mod_ktrack は正常稼働し続けます。
対応方法	本メッセージが短時間に多発する場合はネットワークに問題がある可能性が高いため、社内のネットワーク担当者か ISP の窓口へお問い合わせください。

## 5. FAQ

ここではよく問い合わせられる質問と答えを記します。

Q1: mod\_ktrack を新しいバージョンに入れ替えて apache を再起動したら Segmentation fault が発生しました。

A1: モジュール入れ替え後は、apache の再起動を以下のコマンドにて実行してください。

```
$<apache のインストールディレクトリ>/apachectl stop
$<apache のインストールディレクトリ>/apachectl start
```

restart や graceful ではモジュールが正しくロードされないので注意してください。

Q2: mod\_ktrack を使用して iPhone などスマートフォンの計測を行うことは可能ですか？

A2: できません。

mod\_ktrack は JavaScript の動作しない携帯端末を対象として UserAgent を判別して計測を行う仕組みになっており、スマートフォンは対象外としております。スマートフォンの計測を行う場合には PC サイトと同様の JavaScript での計測を推奨します。

Q3: 特定のディレクトリのみを計測対象とすることは可能ですか？

A3: 可能です。

基本的には 2. 2. の記載の通りですが、LocationMatch ディレクティブを使用した正規表現でのディレクトリ指定も可能です。

Q4: 複数のドメインを訪問者の重複なく同一のレポートスイートに計測することは可能ですか？

A4: 可能です。

全ての ktrack.conf について KtrackImageURL の値を同一にして、KtrackInternalDomain に対象ドメインを全て記述してください。

Q5: ソケット通信時にどのようなデータが計測されているか確認する方法はありますか？

A5: apache の稼働しているサーバで以下のコマンドを実行した状態でソケット通信計測対象のページにアクセスすることで確認ができます。

```
$tcpdump -s 8192 -nX dst <KtrackImageURL に定義されたドメイン> and dst port 80
```

Q6: ソケット通信の計測設定に失敗します。

A6: 以下の順序で確認を行ってください。

**確認 1. mod\_ktrack が有効な状態で apache が起動しているか。**

以下のコマンドを実行して

```
$wget --user-agent="DoCoMo/2.0 P903i(c100;TB;W24H12)" --no-cache -q -O - <計測 URL>
```

計測対象ページにアクセスし、</body>の直前に

```

```

のようなタグが挿入されていることを確認してください。このタグが挿入されていない場合は mod\_ktrack が



無効な状態で apache が起動しているので、apache のエラーログを見て原因を修正してください。

**確認2. apache から計測サーバにリクエストが行われているか。**

Q5の手順に従って通信内容を確認してください。もし計測サーバにリクエストが行われていない場合は KtrackSendInternal の定義に沿ったページにアクセスしているか確認してください。

**確認3. apache から計測サーバへの通信経路は確保されているか。**

apache の稼働しているサーバで以下のコマンドを実行し、

```
$ wget --spider http://< KtrackImageUrl に定義されたドメイン>
```

以下のようなメッセージが表示されるか確認してください。

```
Resolving test.d2.sc.omtrdc.net... 66.235.139.240, 66.235.133.49, 66.235.133.47, ...  
Connecting to test.d2.sc.omtrdc.net[66.235.139.240]:80... connected.  
HTTP request sent, awaiting response... 200 OK
```

表示されない場合は計測サーバへの通信経路が確保されていないので、ファイアーウォールやプロキシサーバの通信許可設定、また KtrackLogServerAddress の設定が正しく行われているか確認してください。

## Appendix A. mod\_ktrack の公式サイト対応について

mod\_ktrack はドコモ、KDDI、SoftBank の3キャリアの、公式サイト会員登録のトラッキングの仕組みを実装しています。その詳細について以下に記します。

### 1. mod\_ktrack 公式サイト対応の基本的な仕様

公式サイトでの会員登録時は、ページがキャリア側のゲートウェーに遷移するため、セッション ID 等、mod\_ktrack で必要になる情報が、そこで途切れてしまうという問題があります。

それを解決するために、mod\_ktrack はユーザ(携帯)側に出力される HTML 内に記述されている、キャリアの会員登録用 URL にアクセスし、自動的にパラメタを付加、キャリアのゲートウェーに遷移しても、セッションが途切れない仕様になっています。キャリア会員登録用 URL には、会員登録処理後に遷移するページの URL を指定することができます。

例)

- ・会員登録用 URL を `http://reg.carrier.ne.jp/regist.cgi`。
- ・会員登録後の遷移先 URL を「**nu**」というパラメタに指定。

とした場合に、会員登録用URLは以下のようなHTMLで表現されます<sup>4</sup>。

#### ■リンクの場合

```
<a href="http://reg.carrier.ne.jp/regist.cgi?...&nu=<会員登録後 URL>&...">承諾する</a>
```

#### ■フォームの場合

```
<form action="http://reg.carrier.ne.jp/regist.cgi">
  :
  <input type="hidden" name="nu" value="<会員登録後 URL>">
</form>
```

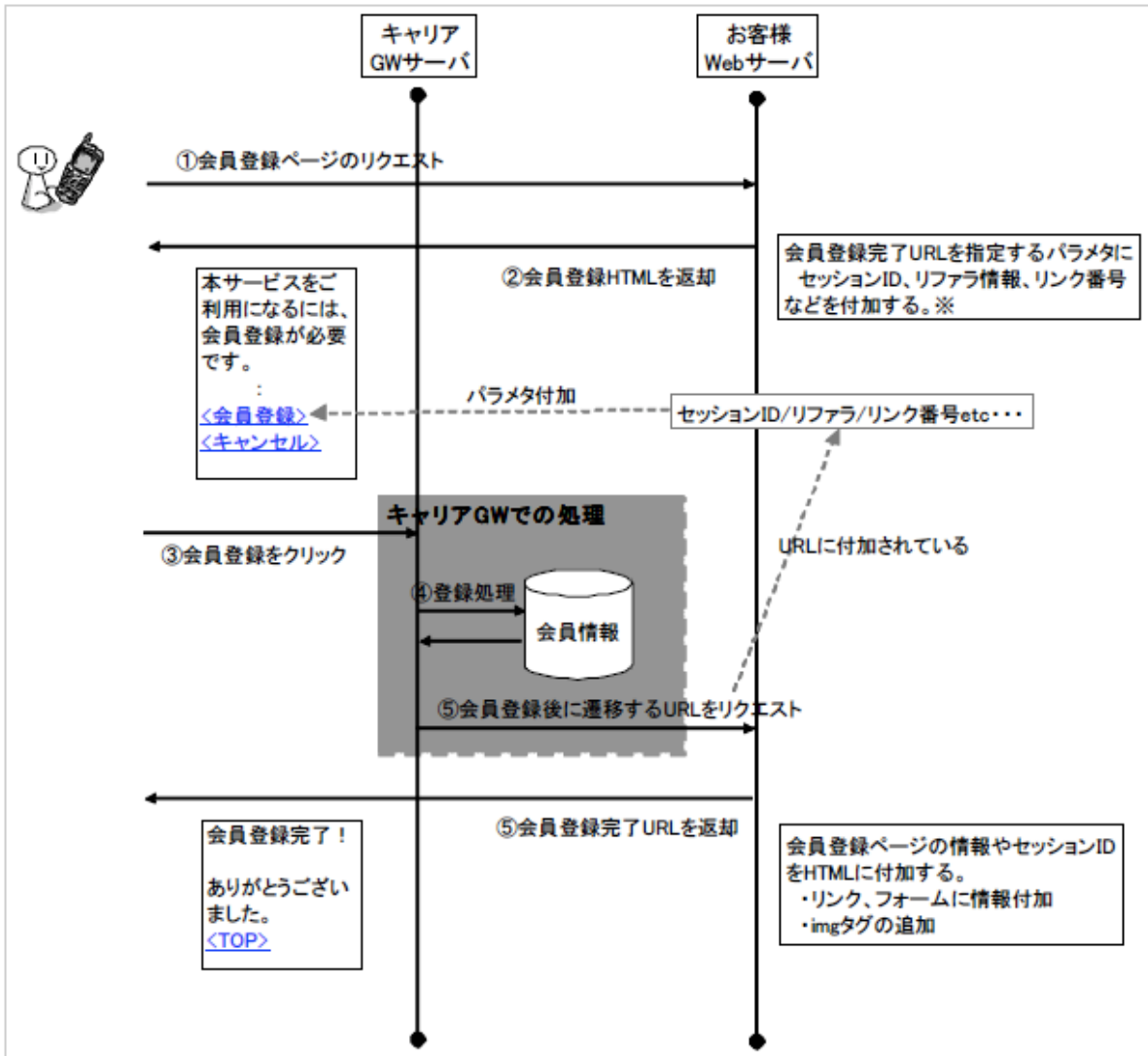
ユーザ(携帯)側に出力される HTML 内に記述されている URL がキャリア会員登録用 URL であるかの判断を行い、キャリア会員登録用 URL の場合、赤字で表示されているキャリア会員登録用 URL に mod\_ktrack が必要とするパラメタを付加することで公式サイトへの会員登録の前後のトラッキングを可能とします。

<sup>4</sup> キャリアの会員登録用 URL やキャリアゲートウェーに渡すことのできるパラメタは、キャリアによって異なります。mod\_ktrack はその違いを吸収し、各キャリアに対応するパラメタを付けることにより公式サイト対応としました。キャリア会員登録用の URL やパラメタは機密情報のため、ここでは開示することができません。

## 2. 会員登録までの処理シーケンスと画面遷移

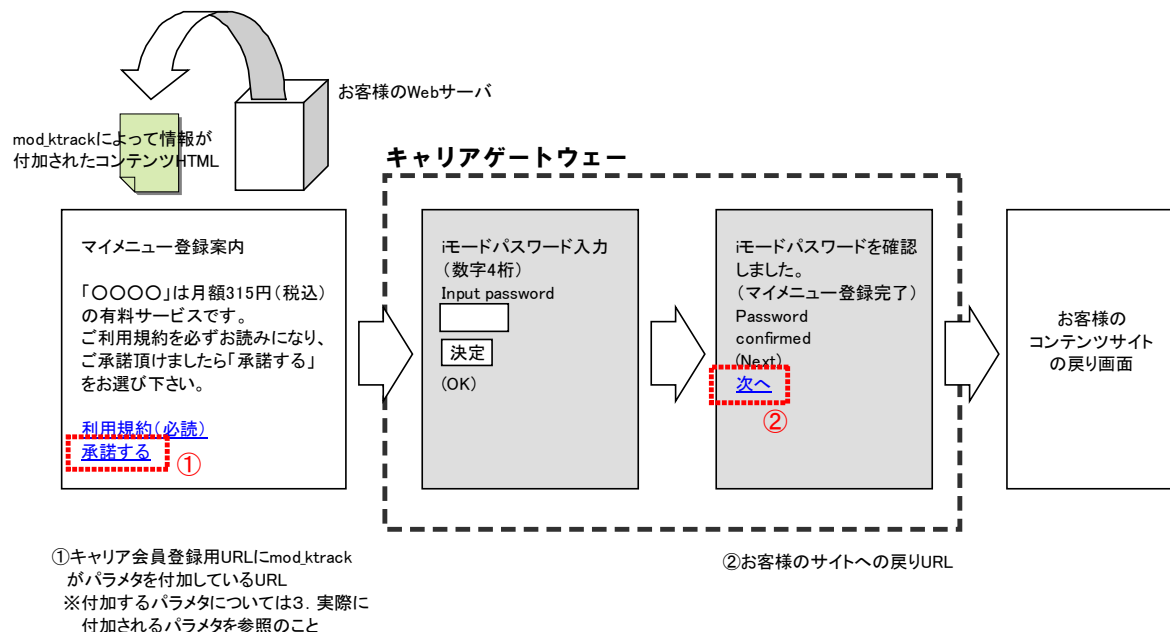
以下のような流れで公式サイトへの会員登録処理が実施されます。

### 2. 1. 処理シーケンス図



## 2. 2. 画面遷移図

画面遷移は以下のようになります。ここでは例としてドコモの会員登録の画面遷移を用います。



①の承認するリンクには、mod\_ktrack で必要になるパラメタが付加されている状態になります。キャリアゲートウェイに遷移した場合でも、そのパラメタは引き継がれますので、お客様のコンテンツサイトの戻り画面に遷移したときに、再度 mod\_ktrack がそのパラメタをハンドリングし解析を行うことができます。

ただし、行動分析での画面遷移は、キャリアのゲートウェイ画面は無視します。よって、行動分析機能で参照できる画面遷移は「マイメニュー登録案内」→「お客様のコンテンツサイトの戻り画面」になります。

## 3. 実際に付加されるパラメタ

mod\_ktrackによって付加される計測用の情報は、キャリアゲートウェイに渡すことのできるパラメタ名(ここでは「nu」というパラメタ名)に設定されます<sup>5</sup>。例えば会員登録後に遷移する、お客様のコンテンツサイトの戻り画面のURLを「<http://xxx.zzzz.com/index.html>」、キャリア会員登録用URLを「<http://reg.carrier.ne.jp/regist.cgi>」とした場合、2. 2. 画面遷移の図に示したマイメニュー登録案内画面の「承諾する」リンクのURLは以下のようになります。

```
<a href="
http://reg.carrier.ne.jp/regist.cgi
?nu=http://xxx.zzzz.com/index.html?ktrp=s/<セッション ID>/c/キャンペーン変数/&ktrr=1>承諾する</a>
```

※パラメタ「nu」に付加される情報は URL エンコードされます。

<sup>5</sup> 実際には、キャリア側の仕様により、様々なパラメタがありますが、ここでは割愛します。

## 3. 1. mod\_ktrack モジュールが利用するパラメタ領域

mod\_ktrack が付加するパラメタの各情報を以下に記します。

nu に指定された URL		戻り URL
ktrp	s	mod_ktrack で利用するセッション ID。「c2」の値を使用。
ktrr		1: 会員登録 / 2: 退会

※キャンペーン変数に関しては、パラメタがある場合のみ付加します。

## 3. 2. mod\_ktrack モジュールが利用するパラメタ領域

mod\_ktrack が付加する情報は、キャリアのゲートウェイに遷移する際に、キャリア側に渡せるパラメタの領域を利用しています。

mod\_ktrack は、クライアントのサイト側で付けているパラメタの長さに関係なく、情報を付加しますので、クライアントのサイトが、キャリアが制限しているパラメタサイズをギリギリまで利用している場合はNGになる可能性があります。

キャリア側に渡せるパラメタサイズは各キャリアで異なりますが、mod\_ktrack が付加するパラメタサイズはリファラURLを除いて 100~120byte 程度です

よって、mod\_ktrack をインストールする際は、クライアント側のサイトでキャリア側に渡しているパラメタサイズを必ずご確認ください。

## 4. 課金方式の対応状況

mod\_ktrack は、公式サイトでの課金仕様を以下のケースで対応しています。

キャリア	課金タイプ	対応可否
ドコモ CAUTION 1	会員登録(有料/無料)	○
	個別課金	△ CAUTION 2
SoftBank	継続利用型	○
	期間固定型	○
	従量課金型	○
	コンテンツ・キー課金型	○
au	会員登録(KCCS)	○ CAUTION 3
	まとめて au 支払	× CAUTION 4

▲CAUTION 1 ドコモキャリアゲートウェイからの戻り URL のパラメタ領域を超える場合は、サイトアプリケーションで何かしらの施策が必要になります。

▲CAUTION 2 ドコモの個別課金時の制約について

DoCoMo の個別課金時の指定で、ダウンロードコンテンツに html コンテンツを指定した場合に課金処理が正常に動作しな

いことがあります。原因は、ダウンロードコンテンツに指定されたhtmlコンテンツに対しても mod\_ktrack がトラッキング用情報を付加してしまうためです。対策としては、ダウンロードコンテンツの対象になる html コンテンツは mod\_ktrack がトラッキングを行わないように設定する必要があります。以下のような方法があります。

- ① ダウンロードコンテンツを通常のコンテンツとは別のディレクトリに纏めます。
- ② ①のディレクトリに対して、mod\_ktrack が有効にならないような設定にします。

ディレクトリを/download\_files とした場合、以下のような設定を追加します。

```
<Location /download_files>
    KtrackSiteId <サイト ID>
    KtrackLicense disable-ktrack-module
</Location>
```

**CAUTION 3** HTTP リクエストを行い、会員登録を行うものについては対応しておりますが、サイトアプリケーション側で KCCS がコマンドやライブラリとして用意している課金モジュールを利用する場合は対応できません。

**CAUTION 4** まとめて au 支払について

KDDIが提供している決済サービス「まとめてau支払」に関しては、「まとめてau支払」の仕様上、サイト側にカスタマイズをしなければなりません。まとめて au 支払を利用している場合に、課金処理の前後でセッションを継続するには、サイト側で以下の対応がされている必要があります。

- a. mod\_ktrack が付与するパラメタを課金サーバからの戻り URL に指定します。

mod\_ktrack が付与するパラメタは以下の通りです。

パラメタ名		備考
c2	セッション ID	KtrackSIDReuseUID を利用する場合は必要なし

- b. まとめて au 支払いの課金サーバからの戻り URL には 153byte 以内で URL を指定します。

※153byte を超えた場合は課金サーバからエラーが返されます。

mod\_ktrack が付与するパラメタが原因で 153byte を超える場合は ktrack.conf の設定を変更する事で、mod\_ktrack が付与するパラメタ長を短くする事ができますが、対応をしても URL 長が 153byte を超える場合は、まとめて au 支払の課金処理前後でセッションを継続した計測をする事はできません。

- c. mod\_ktrack が付与するパラメタを含めると、どうしても 153byte を超える場合。

まとめて au 支払いを行う URL に対して mod\_ktrack のパラメタを付与しないように、ktrack.conf の設定していただく必要があります。

```
KtrackUnckeckedURL <URL>
```

※詳しくは KtrackUnckeckedURL の設定項をご覧ください。

## Appendix B. その他の情報

### 1. モジュールのセッションハンドリングについて

以下に、モジュールのセッション管理方法の変更履歴について記述します。

2007 年 6 月 初期バージョンリリース

携帯のセッション管理用変数として c2(prop2)及び c3(prop3)変数を SiteCatalyst へ送る事で、セッション管理を実現。 ※本バージョンでは、Proxy 経由の計測時、SiteCatalyst データサーバより 302 レスポンスが返される為、Proxy 経由での計測できないことが後に判明。

2007 年 7 月 2nd バージョンリリース

VisitorID(変数上は vid)のリリースに伴い、c2 と c3 の組み合わせ→visitorID へとセッション管理方法を変更。 これにより、Proxy 経由時に 302 レスポンスとなる問題は解消。

2008 年 6 月 3rdバージョンリリース

非 SSL ページ→SSL ページ遷移時、Docomo 端末の uid=NULLGWDOCOMO 未設定ページ、及び uid 情報の送信 OFF 対策として、セッション ID 切れが極力発生しない様、セッション管理ロジックのカスタマイズを実施。 i モード ID への対応も実施。

2008 年 7 月以降

セッションハンドリングロジックの変更は無し。

2009 年 4 月 バージョンリリース

セッションハンドリングロジックは以前の版から引き次いで使用。

2010 年 3 月 バージョンリリース

セッションハンドリングロジックは引き続き変更なし。 セッション変数のフォーマットに md5 ハッシュ(32 桁英数字)を採用するモードを新たに追加。

### 2. モジュールの出力するログについて

以下に、モジュールの出力するログ内容の変更履歴について記述します。

2007 年 6 月 初期バージョン～2008 年 6 月 3rdバージョン

モジュールは、ソケット通信時にタイムアウトが発生した場合、以下の内容のログを、Apache 標準のエラーログへ出力。

```
[mod_ktrack] Socket-Response recv Failed
```

2008 年 7 月

---

KtrackSendInternalTimeout の実装に伴い、0.1～9.9 秒までの間でタイムアウトの制御が可能になったため、ログ出力への負荷を考慮し Apache 標準のエラーログを出力しない仕様へ変更。

2010 年3月

ユーザーの要望により、KtrackEnableTimeoutLog ディレクティブを新設し、タイムアウト発生時にログを出力可能とした。

### 3. モジュールの出力するメッセージについて

2010 年 2 月 2 日版のモジュールより、モジュールが読み込む設定ファイルにてエラーが発生した場合でも、Apache の起動自体については成功する様修正を行っています。

モジュールが出力するメッセージの仕様と、その際のモジュールの動作について、別紙「出力メッセージ一覧\_20100202ビルドモジュール版」に纏めていますので、別途ご参照ください。

### 4. mod\_ktrack パフォーマンス検証結果

自社検証結果を以下に記します。

#### 4. 1. 前提条件

##### ■ 検証方法

利用ツール	Apache 標準の ab コマンド
ユーザ数	同時 50 ユーザ
アクセス数	1000 アクセス
コマンド	ab -c 50 -n 1000 <URL>

注) ネットワークについて

ab コマンドを実行したサーバ内で動作している apache に対してテストを実施しているため、外部ネットワークは経由していない。

##### ■ 検証サーバのスペック

CPU	Intel Xeon 3.2GHz (Single Core) * 2
RAM	2GB
apache	2.0.55

##### ■ 検証対象コンテンツ

コンテンツ	静的 HTML コンテンツ
コンテンツ内リンク数	73 個
ファイルサイズ	6986 Bytes



mod\_ktrack モジュールはコンテンツ内の<a>タグや<form>タグに処理をするため、処理負荷はリンク数に依存します。対象の HTML コンテンツではリンク数が 73 個と多いため、参考値を算出するために適していると判断しました。

#### 4. 2. 検証結果

##### ■ 1PV あたりの処理時間

mod_ktrack モジュールなし	2.480 msec
mod_ktrack モジュールあり	5.172 msec
mod_ktrack モジュール処理	2.692msec/PV

#### 4. 3. 算出例

最大スループットが 30PV/sec のサイトに mod\_ktrack モジュールを導入した場合の性能劣化を以下に算出します。

##### ■ mod\_ktrack モジュール処理時間(参考値)

mod_ktrack モジュール処理時間	2.692msec/PV
----------------------	--------------

##### ■ スループット算出方法

	PV 数/sec	msec/PV
mod_ktrack モジュール導入前	30.00	33.33
mod_ktrack モジュール導入後	27.76	36.03
		92.53%
性能劣化率		-7.47%

以上